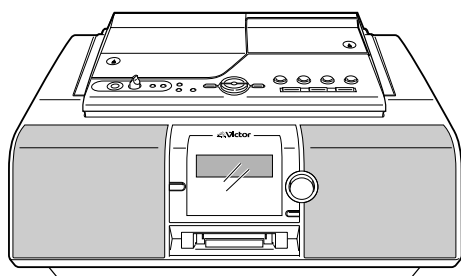
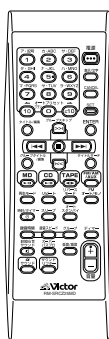
取扱説明書

CD-MDポータブルシステム

型名 RC-Z25MD

Clavia
クラビア

MiniDisc

ーお買いあげありがとうございますー

● もくじは2ページにあります。

⚠ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に3 ～ 5ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

(Clavia とは、ドイツ語の「鍵盤楽器」の意からの造語です)

LVT1381-001B

もくじ

お使いになる前に　ページ

準備　ページ

聞く　ページ

録音する（MD、テープ）　ページ

編集する（リモコンを使います）　ページ

タイマー・オートスタンバイを使う　ページ

知っておいてほしいこと　ページ

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の説明

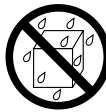
注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる。

● 煙が出ている、へんなにおいがするとき
● 内部に水や異物が入ってしまったとき
● 落としたり、破損したとき
● 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

風呂場では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

本機の中に物を入れない。

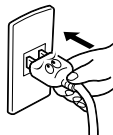
通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

● 電源コードを加工しない
● 電源コードを無理に曲げない
● 電源コードをねじらない
● 電源コードを引っ張らない
● 電源コードを熱器具に近づけない
● 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

⚠警告

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

接触禁止

表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

手を挟まれないよう注意

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(+)とマイナス(−)を間違えない
- 電池のプラス(+)とマイナス(−)をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、リモコンの内部についた液をよく拭きとってください。
万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

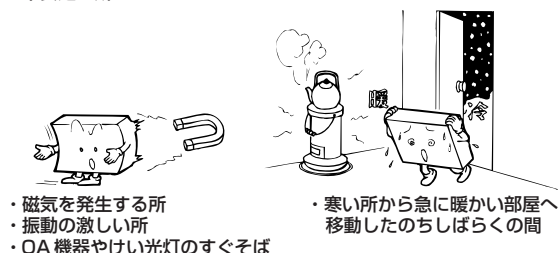
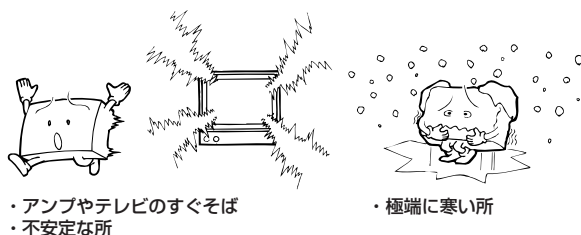
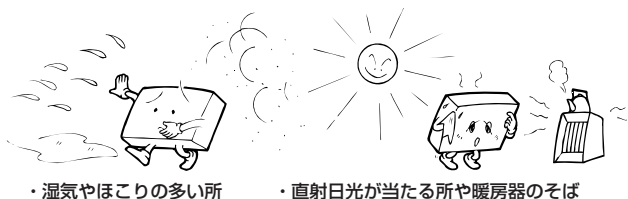
使用上のご注意

本機やテープ、CD、MDの置き場所について

●故障などを防止するため次の場所は避けてください。

・湿気やほこりの多い所　・直射日光が当たる所や暖房器のそば

・アンプやテレビのすぐそば
・不安定な所
・極端に寒い所

・磁気を発生する所
・振動の激しい所
・OA 機器やけい光灯のすぐそば
・寒い所から急に暖かい部屋へ移動したのちしばらくの間

露がついたら

次のような場合、本機のレンズに露（水滴）が付いてCDやMDが正しく演奏できない場合があります。

●暖房を始めた直後
●湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
●寒い所から急に暖かい部屋に移動したとき

電源を入れたまま、約1〜2時間待ってからお使いください。

ヘッドホンについて

●ヘッドホンをご使用になるときは耳を刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。

■ステレオを聞くときのエチケット
ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

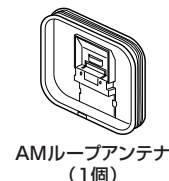
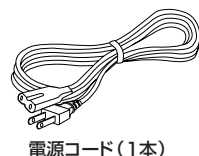
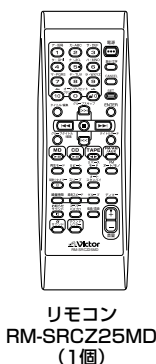
付属品の確認

お使いになる前に付属品をお確かめください。

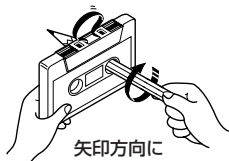
リモコン
RM-SRCZ25MD
（1個）

単3形乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）

電源コード（1本）

AMループアンテナ
（1個）

カセットテープについて

カセットテープの取り扱いかた

●テープに**たるみ**がありますと、巻き込んだり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにして**たるみ**を取り除いてください。

●テープを引き出したり、テープ面にふれないでください。

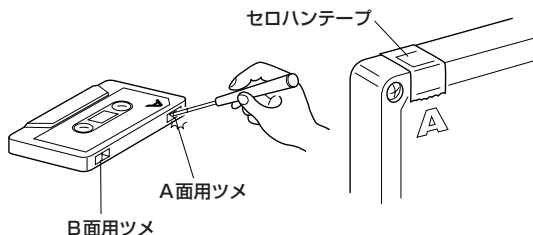
矢印方向に
鉛筆を回す。

●**C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。**
長い時間録音や再生ができて便利ですが、テープが薄く伸びやすいため機器内部に巻き込まれる原因となります。

大切な録音を消さないために

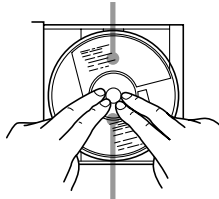
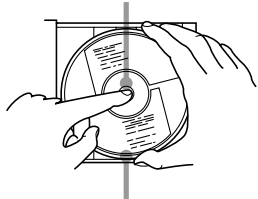
カセットテープには誤消去防止用のツメ（タブ）がついています。

●ツメを折っておくと録音（消去）ができなくなり、誤って消してしまうことが防げます。

●再び録音したいときはツメの穴をセロハンテープなどでふさぎます。

CDについて

CDの取り扱いかた

- ケースからの出し入れ

センターホルダーを押さえ　　文字のある面を上にして…

演奏面(虹色に光っている面)に触れないように持って出す。　　上から押さえて入れる。

- CDにテープやシールなどを張ったり字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。

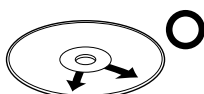
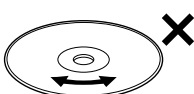
- 文字のある面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO または COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable、COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。
- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- MP3/WMAフォーマットには対応しておりません。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- 音楽用のCDフォーマット以外で記録したことのあるCD-RWディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。

CDのお手入れ

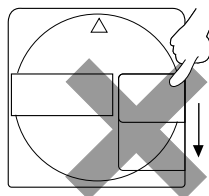
演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

MDについて

MDの取り扱いかた

シャッターは開けないで

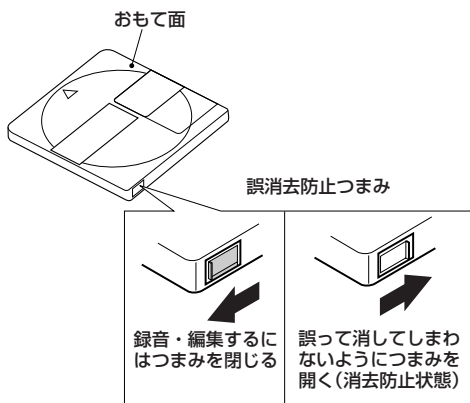
MDのシャッターは、開かないようにロックされています。無理に開けようとするとMDがこわれます。

置き場所に気をつけて

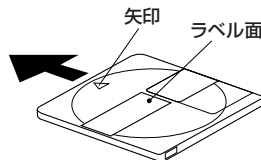
次のようなところには置かないでください。
・直射日光が当たるところや車の中など温度の高いところ
・風呂場など湿気の多いところ
・海辺や砂場など、砂ぼこりが多いところ
ディスクが反ったり、汚れやキズなどで使えなくなる原因となります。

定期的にお手入れを

MDにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってから使用してください。

大切な録音を消さないために

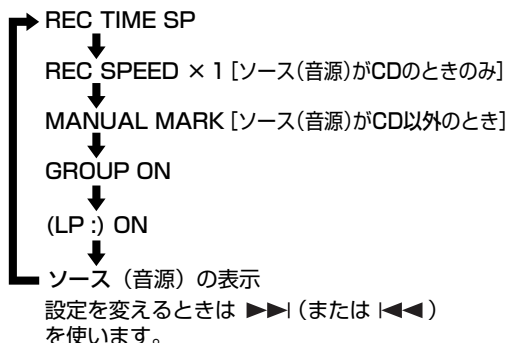
録音用MDには、大切な録音を間違って消さないための、誤消去防止つまみがついています。録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。新しく録音や編集をしなおすことができなくなります。録音や編集をしなおすときは、閉じた状態に戻してください。

〈お知らせ〉

- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置には張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
- MDは▷などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

各部の名前 ー(　)内のページに説明があります。ー

本体部

モードボタン（➡30〜32）
MDに録音するときの録音モード(録音時間のモード、録音スピード、トラックマークのつけかた、グループ録音の設定、LP：の有無)を確認することができます。

REC TIME SP
↓
REC SPEED ×1 [ソース(音源)がCDのときのみ]
↓
MANUAL MARK [ソース(音源)がCD以外のとき]
↓
GROUP ON
↓
(LP :) ON
↓
ソース（音源）の表示

設定を変えるときは ▶▶I（または I◀◀）を使います。

CDドア（➡18）
ここを開けてCDを入れます。

⏏(CD取出し)部（➡18）
CDドアを開閉するとき、この部分を押します。

MD録音ボタン（➡27、31）
MDに録音するとき使います。

お知らせサウンドボタン（➡15）
ボタン操作をするごとに「ピッ」「ピピッ」などの確認音を鳴らなくすることができます。

α SOUNDボタン（➡15）（アルファ サウンド）

スーパーバスプロボタン（➡15）

MD ▶/❚❚ボタン（➡14、18、26）
ソース(音源)が「MD」になり演奏がスタートします。電源を入れることもできます。

CD ▶/❚❚ボタン（➡14、18、26）
ソース(音源)が「CD」になり演奏がスタートします。電源を入れることもできます。

音量つまみ（➡14）

マルチコントロールボタン
ソース(音源)によって働きが異なります。

	「CD」／「MD」のとき
I◀◀ と ▶▶I	曲の頭出し、早送り／早戻し（➡18）
■	CD停止／MD停止（➡18）

録音モードの設定を変えることもできます。（➡30）

⏏MD取出しボタン（➡18）
MDを取り出すとき押します。
電源を入れることもできます。

MD挿入口（➡18）
電源「入」のとき、ここにMDを入れます。

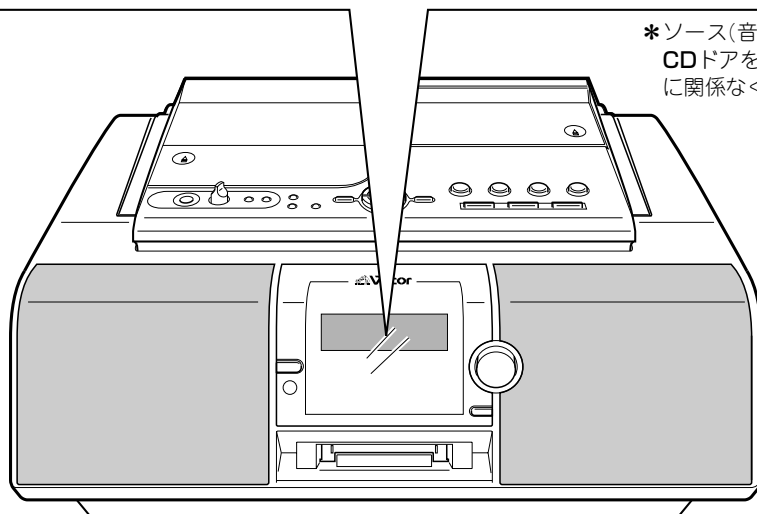
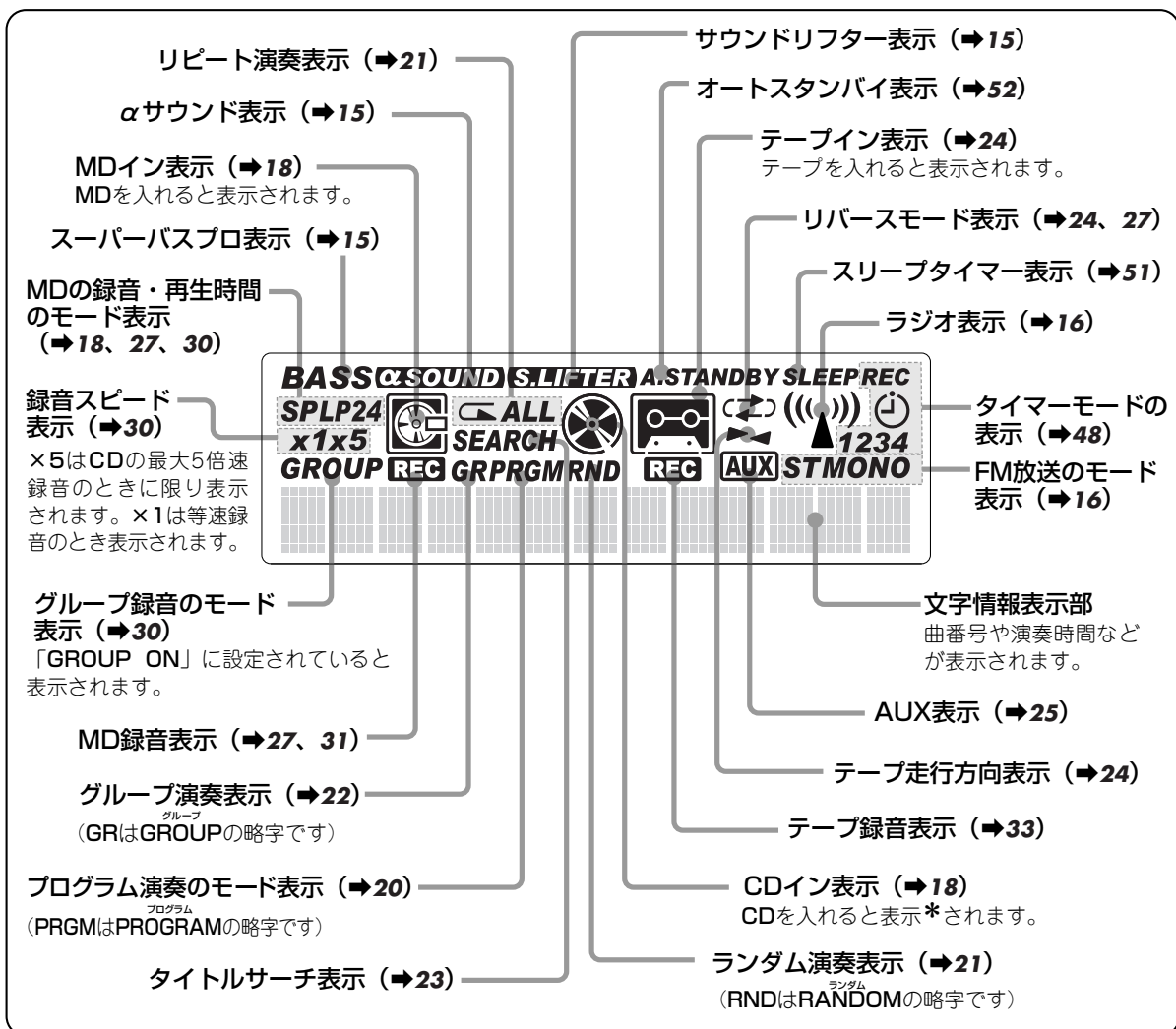
電源ボタン（➡14）
電源の「入⟷切」に使います。

本体部

	⏮と⏭	■
テープ（TAPE）のとき	REW（巻戻し）と FF（早送り）（➡24）	テープの停止（➡24）
放送（ラジオ）のとき	マニュアル選局／プリセット選局（➡16）	選局モード（マニュアル選局とプリセット選局の切換（➡16））

各部の名前(つづき)—(　)内のページに説明があります。—

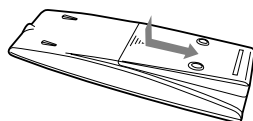
表示窓(ディスプレイ)

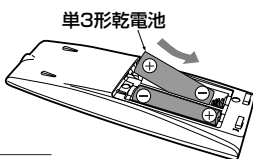
*ソース(音源)がCD以外のとき、CDドアを開閉するとCDの有無に関係なく表示されます。

リモコン（RM - SRCZ25MD）

- 数字ボタン（1～10、≧10）（➡*16*、*19*、*47*）
- オートプリセット・0ボタン（➡*17*）
  オートプリセットのモードにすることができます。
- タイトル／編集ボタン（➡*17*、*35*、*39*）
- グループスキップボタン（|<<、>>|）（➡*22*）
- グループタイトル/編集ボタン（➡*35*、*43*）
- リピートボタン（➡*21*）
- 再生モードボタン（➡*20*～*22*）
- 時計／タイマーボタン（➡*47*、*48*）
- 録音モードボタン（➡*27*、*30*、*31*）
  - ・録音時間
  - ・録音スピード（「CDからの録音」時のみ働きます）
  - ・グループ
- お知らせサウンドボタン（➡*15*）
- スーパーバスプロボタン（➡*15*）
- 表示／文字ボタン（➡*17*、*19*、*47*）
- CANCEL（キャンセル）ボタン（➡*20*、*47*）
- SET（セット）ボタン（➡*17*、*47*）
- ENTER（エンター）ボタン（➡*23*、*37*、*39*、*43*、*47*）
- タイトルサーチボタン（➡*23*）
- ソース（音源）切換ボタン（➡*14*）
- リバースモードボタン（➡*24*、*27*）
- FMオート／モノボタン（➡*16*）
- スリープボタン（➡*51*）
- オートスタンバイボタン（➡*47*）
- ディマーボタン（➡*47*、*51*）
- 音量ボタン（➡*14*、*15*）
- 低音／高音ボタン（➡*15*）

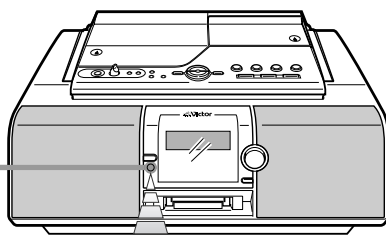
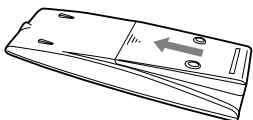
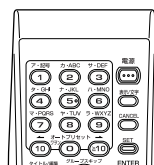
説明のないボタンは、本体の各ボタンと同じ働きをします。

リモコンの乾電池の入れかた

1 裏ブタを開ける

2 乾電池を入れる

単3形乾電池を2本入れます。リモコン内部の表示に極性（＋、－）を合わせて正しく入れます。

3 裏ブタをしめる

矢印の方向に戻します。

● リモコン操作のしかた

・リモコン受光部に正しく向けて操作してください。
・操作可能な距離は、リモコン受光部より約7mですが、斜めから操作すると短くなります。

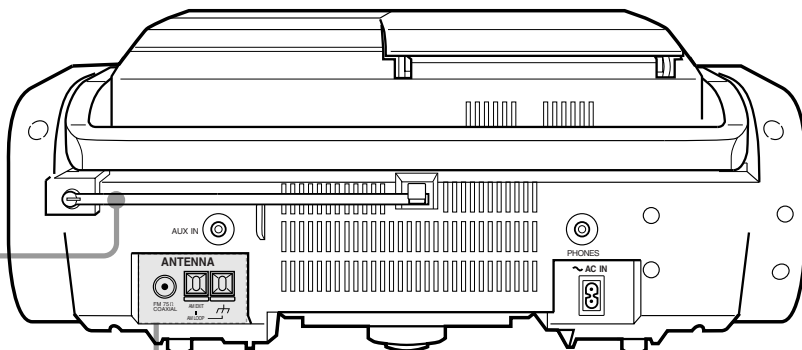
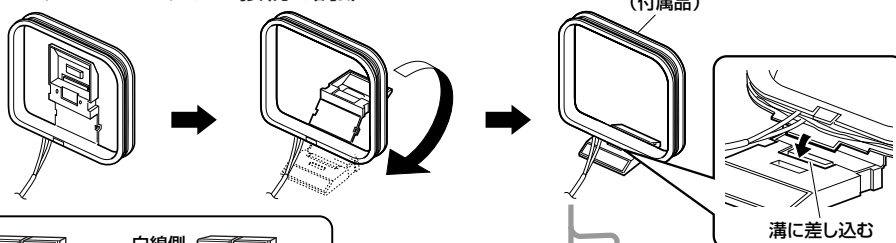
〈お知らせ〉

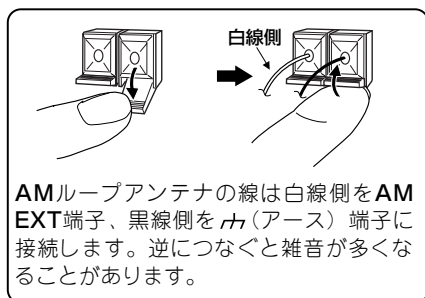
- リモコン操作できる距離が短くなったときは、電池が消耗してきています。
  2本とも新しい電池（単3形アルカリ乾電池など）に交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早目に新しい乾電池と交換してください。
  乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを、リモコン内部の表示通り正しく入れてください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 他のラジオにノイズ（雑音）が入るときは、離してお使いください。
- 次のような状態で使用しないでください。動作しないことがあります。
  - ・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっているとき
  - ・リモコン受光部の前にリモコンの信号を妨げる物があるとき

接続 ー接続が終わるまで電源は入れないでください。ー

アンテナの接続と調節

〈お知らせ〉
- アンテナを接続しないと、AM放送を聞くことはできません。
- AMループアンテナは、金属製の机の上やパソコン、テレビなどの近くに置かないでください。受信状態が悪くなります。

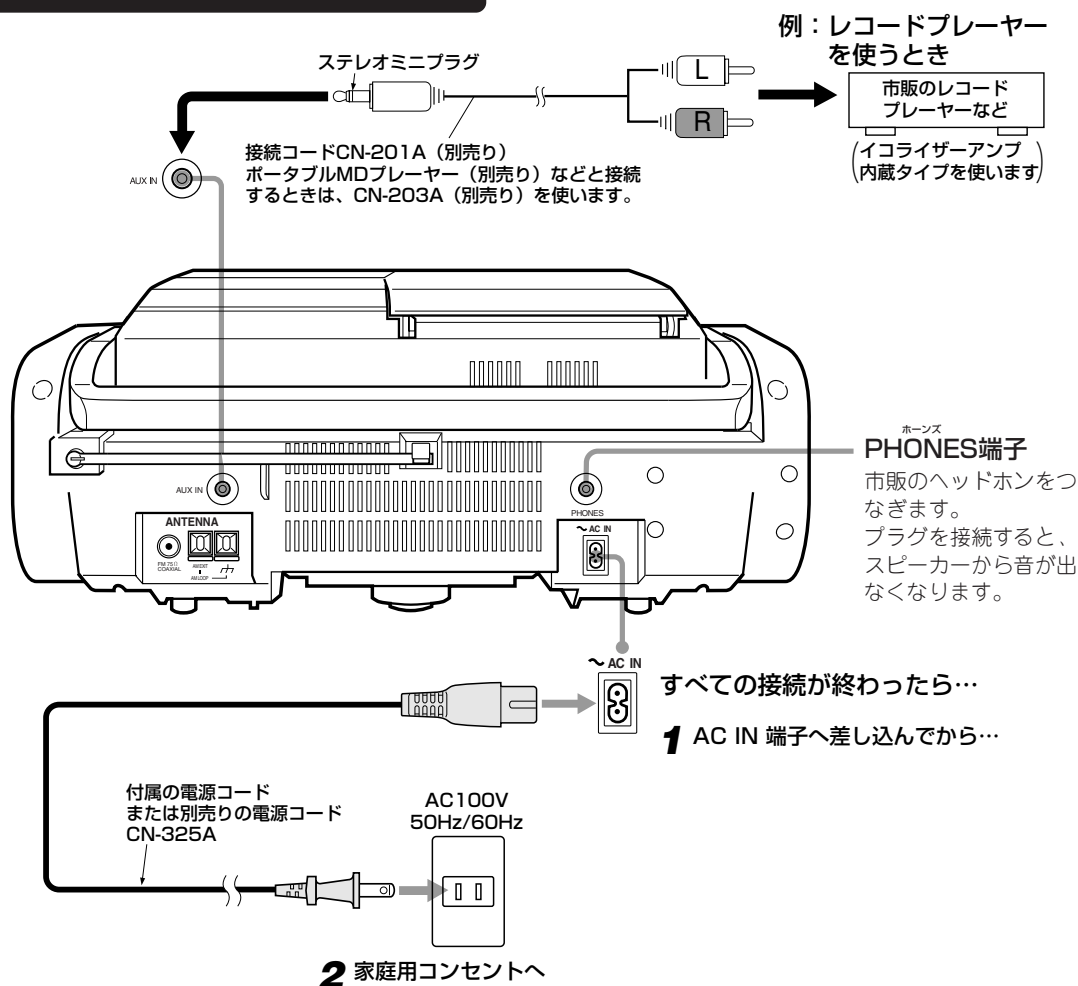
ロッドアンテナ（FM放送用）
伸ばして最も良く受信できるように長さ、角度を調節します。

● 付属のAMループアンテナの接続と調節

・本体からできるだけ離し、左右に回してみて最も良く受信できる所に置きます。（束ねてある線はよく伸ばして使ってください）

AMループアンテナの線は白線側をAM EXT端子、黒線側を ⏚（アース）端子に接続します。逆につなぐと雑音が多くなることがあります。

● 屋外アンテナの接続

- FM放送の場合、ロッドアンテナでは雑音が多くて聞きにくいときは、市販のFM用屋外アンテナを使います。マンションなどでは、壁のVHF TV用の共聴アンテナ端子も利用できます。
- AM放送の場合、市販の単線コード（3m〜5mの電線）を使います。

・AMループアンテナも一緒に接続しておきます。単線コード（電線）は、窓際や屋外になるべく高く水平に張ると効果的です。部屋の条件によっては、雑音が多くなることもあります。

〈お知らせ〉
- 屋外アンテナの設置は、技術と経験を必要としますので詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
- 電波状態によっては、FMフィーダーアンテナ：CN-511A（別売り）がアンテナコネクターと一緒にご利用になれます。
- アンテナを接続したら、コードを引いてみてしっかり接続されているか確認してください。

他の機器、電源コードの接続

〈お知らせ〉

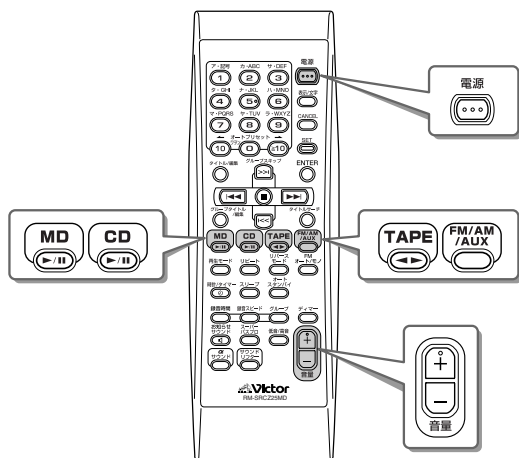
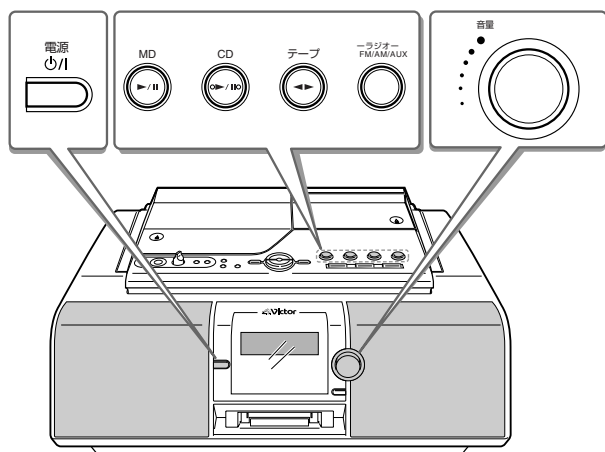
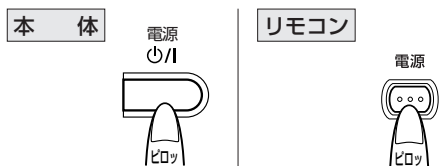
- 電源コードを紛失したり電源コードが断線したときは、お買い上げの販売店で別売りの電源コード：CN-325Aをお買い求めください。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておいて安全および節電に心がけてください。
（電源が切れていても、電源コードが接続されていると約0.9Wの電力を消費します）

ご注意

- **形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。**
- **付属の電源コードは、本機以外の機器には使用しないでください。**
- **本機を持ち運びするときは**
電源コードやアンテナ線、他の機器との接続コードを事前に外し、ハンドルを持って運んでください。
特にFM用屋外アンテナを接続しているときは、ご注意ください。
- 電源コードをコンセントから抜いた状態や停電が20分以上続くと、時計の設定は取り消されます。またタイマー予約の内容は、停電状態になると取り消されます。復旧したら合わせ直してください。

簡単操作(電源の入/切、イチ押しプレイ)

1 電源を押す

本　体　リモコン

・電源が入り、「HELLO」が表示されたあと選ばれているソース(音源)が表示されます。
・CD▶/Ⅱ、MD▶/Ⅱ、TAPE◀▶(本体はテープ◀▶)、FM/AM/AUXのいずれかを押したときも電源が入り、ソース(音源)も変わります。
➡イチ押しプレイといいます。
(ディスクやテープが入っているときは、演奏が始まります)

2 聞きたいソース(音源)を選ぶ

本　体

	操　作	参照ページ
MDを聞く	MDを入れ、MD▶/Ⅱを押す。	18
CDを聞く	CDを入れ、CD▶/Ⅱを押す。	18
テープを聞く	テープ入れ、TAPE◀▶(本体はテープ◀▶)を押す。	24
放送を聞く(ラジオ)	FM/AM/AUXを押して聞きたいバンドを選び、放送局を選局する。	16
他の機器の音声を聞く	レコードプレーヤーなどをつなぎ、FM/AM/AUXを押してAUXを選ぶ。	25

3 音量を回して(リモコンは音量を押して)音量を調節する

本　体　リモコン

・リモコンの場合、+側を押すと音量が上がり、−側を押すと下がります。押し続けると連続して変わります。
・VOLUME 0〜35までの範囲で調節できます。
(お買い上げ時はVOLUME 14です)

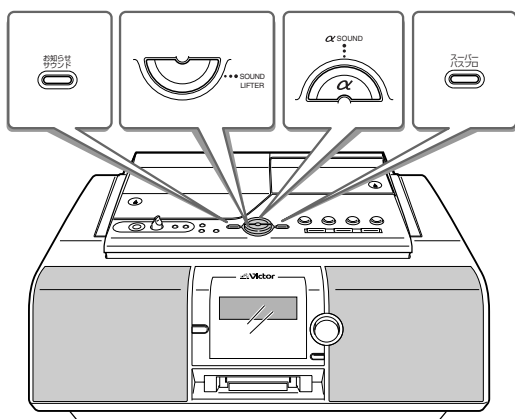
●使い終わったら…

電源を押して電源を「切」にします。
「ピッピッ・プップッ」音が鳴り、「See You」が表示されたあと表示窓に現在時刻と曜日が表示されます。

〈お知らせ〉

- **電源「切」のときは、消費電力を抑えるためMDを入れることはできません。無理に押し込むと故障の原因となります。電源を「入」にしてからMDを入れてください。**
- お知らせサウンドを「**オシラセ サウンド OFF**」に設定すると、ボタン操作受け付け時の「ピッ」音や電源「切」時の「ピッピッ・プップッ」音などは鳴りません(➡**15**ページ参照)。
- 電源「切」のとき**⏏MD取出し**を押すと、電源が入りMDが入っているときは出てきます。

＊以後、本書では主にリモコンを使った操作を説明します。本体のボタンで、リモコンのボタンと同じ名前や似た記号のボタンは、同じ働きをします。
また、本体だけのボタンで操作するときは、本体で説明します。

音を調節する

● αサウンド(用語解説➡*59*ページ右下参照)を選ぶ

αSOUNDを押して「オン」にすると表示窓に α SOUND が表示され、広がりのある音が楽しめます。

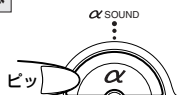
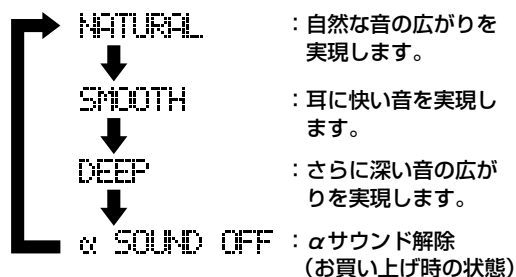
本　体

リモコン

NATURAL ：自然な音の広がりを実現します。

SMOOTH ：耳に快い音を実現します。

DEEP ：さらに深い音の広がりを実現します。

α SOUND OFF ：αサウンド解除（お買い上げ時の状態）

● サウンドリフターを使う

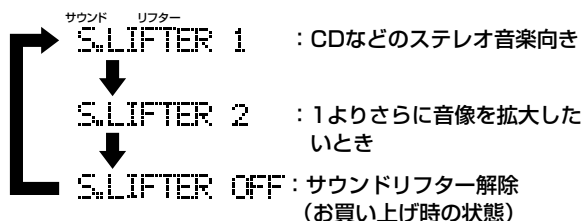
音像を上方向に拡大するとともに、音質の明瞭度も向上し臨場感ある再生音が楽しめます。サウンドリフターを「オン」にすると表示窓に S.LIFTER が表示されます。

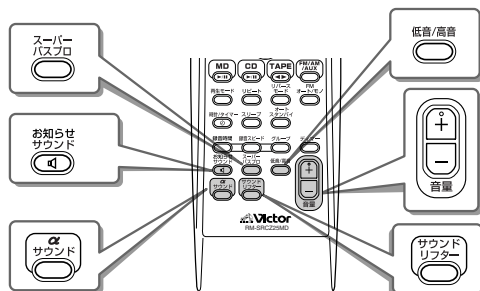
本　体

リモコン

S.LIFTER 1 ：CDなどのステレオ音楽向き

S.LIFTER 2 ：1よりさらに音像を拡大したいとき

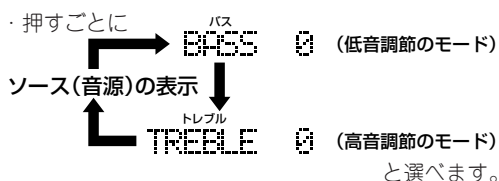
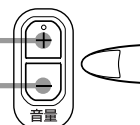
S.LIFTER OFF ：サウンドリフター解除（お買い上げ時の状態）

〈お知らせ〉

● 再生するソース(音源)によっては、再生音に違和感を感じることがあります。このようなときは別のモードを選ぶかサウンドリフターを「オフ」にしてください。

● 音質の調節(リモコンのみ)

1 低音/高音 **を押す**

・押すごとに

と選べます。

3秒以内に

2 音量 **を押して音質を調節する**

・低音／高音とも0±6の範囲で調節できます。
・調節から3秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

● 重低音を強調する

本　体

スーパー
バスプロ

リモコン

スーパー
バスプロ

・押すごとに「オン↔オフ」が選べます。
「オン」にすると表示窓に***BASS***が表示され、メリハリの効いた重低音が楽しめます(お買上げ時の状態)。

〈お知らせ〉

● 音量や音質調節は、スピーカーの音声やヘッドホンの音声に効きます。録音される音には、影響ありません。

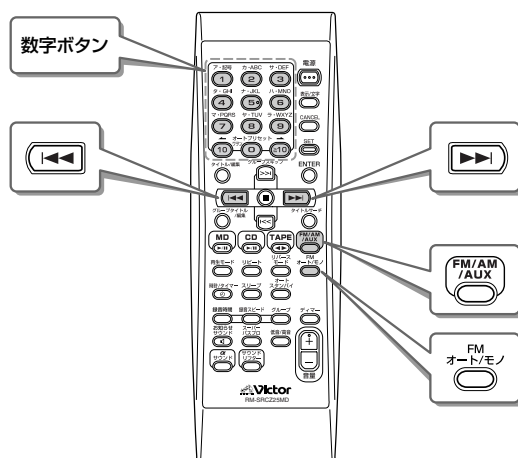
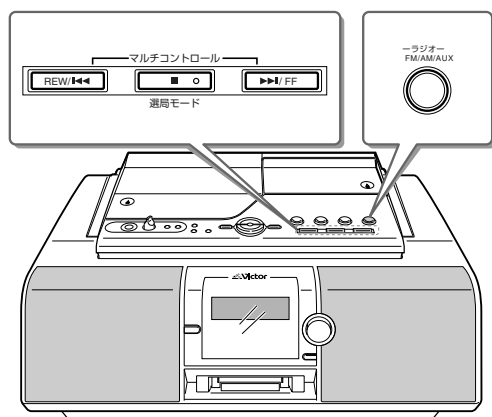
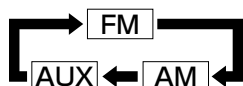
● お知らせサウンドをON/OFFする

本機は、ボタン操作をするごとに「ピッ」「ピピッ」などの確認音が鳴ります。また、録音終了音や録音不可／MD編集時のエラー音も鳴ります。お知らせサウンドは、鳴らなくすることもできます。

本　体

リモコン

・押すごとに「**オシラセ サウンド ON**↔**OFF**」が選べます。
「**ON**」にすると、音量やヘッドホンの有無に関係なく確認音が鳴ります(お買い上げ時の状態)。

放送(ラジオ)を聞く

1 FM/AM /AUX を押してFMまたはAMを選ぶ

・電源が入り、押すごとにバンドまたは「AUX」が選べます。
・FMまたはAMを選ぶとソース(音源)は「ラジオ」になり、表示窓の▲ 表示が ((▲)) 表示に変わります。

2 選局する

2-A 放送局が記憶(メモリー)してあるとき(プリセット選局といいます)

リモコン

● リモコンの数字ボタン(1～10、≧10、0)を押して直接選局する

1～10のプリセット番号を選局するとき

数字ボタンの1～10のいずれかのボタンを押します。

11以上のプリセット番号を選局するとき

P15を選局 ：≧10 ➡ 1 ➡ 5 (AM放送はP15まで)

P20を選局 ：≧10 ➡ 2 ➡ 0
と押します。

21以上のプリセット番号を選局するとき

P25を選局 ：≧10 ➡ 2 ➡ 5

P30を選局 ：≧10 ➡ 3 ➡ 0
と押します。

本　体

● 本体のときは、[■ ○](マルチコントロール/選局モード) を押してPRESET(プリセット)を表示させ [▶▶I/FF] (または [REW/I◀◀])を押して選局する

P1 ↔ P2 ↔ … ↔ P30 (AM放送はP15まで)

2-B リモコンの▶▶I (または I◀◀)を押して選局する

● 本体のときは、[■ ○](マルチコントロール/選局モード) を押してMANUAL(マニュアル)表示にしたあと [▶▶I/FF] (または [REW/I◀◀])を押して選局する

2つの選局方法があります。

オート選局 ：▶▶I(またはI◀◀)を押し続け、周波数が変わり始めたらボタンを離します。十分に電波の強い放送局を受信すると自動で止まります。
途中で止めるときは、▶▶I(またはI◀◀)を「ポン」と押します。

マニュアル選局 ：▶▶I(またはI◀◀)を押すごとに周波数が変わります。▶▶Iを押すと周波数が上がり、I◀◀を押すと下がります。
押すごとにFM*は0.1MHzずつ、AMは9kHzずつ変わります。

・FMステレオ放送を受信すると、ST(STEREO(ステレオ))表示が点灯します。
・電波が弱くてオート選局が自動で止まらないときはマニュアル選局に切り換えてください。

* テレビの1～3チャンネルは、周波数が合わないためうまく受信できません。これはテレビ音声が50kHz間隔のためで、故障ではありません。また4～12チャンネルも受信できません。

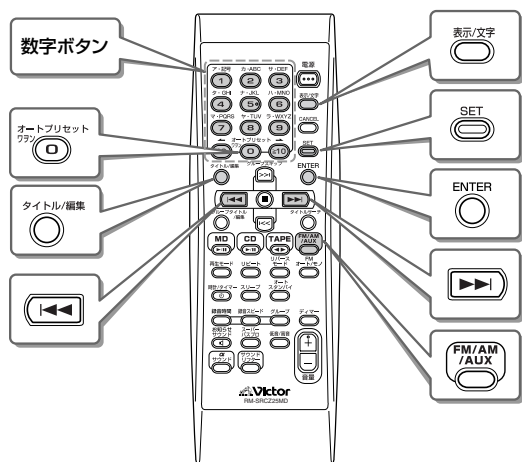
● FM放送を聞くときは

通常は「オート受信」の状態で使います。FMステレオ放送を受信すると、表示窓に“ST”が表示されステレオで聞くことができます。雑音が多くて聞きにくいときは、リモコンのFM オート／モノを押して“MONO”表示(モノラル受信モード)に切換えてください。

リモコン

・押すごとにモードが変わります。

放送局を記憶させる(プリセット)

選局した放送局を記憶(メモリー)しておくと、簡単に呼び出すことができます。
放送局を記憶させる方法には、選局から記憶までを自動で行う**オートプリセット**と、手動で選局と記憶を行う**マニュアルプリセット**があります。
- AM放送は最大15局、FM放送は最大30局まで記憶させることができます。
- **リモコンで操作します。**

〈お知らせ〉
- AM放送は、モノラル受信です。AM放送を受信するときは、必ずAMループアンテナ(付属品)を接続してください。
- ロッドアンテナや付属のAMループアンテナではうまく受信できないときは、市販の屋外アンテナを使用してください(➡**12**ページ参照)。
- 電源コードを抜いた状態(または停電)が24時間以上続くと、記憶させた放送局は取り消されます。再度記憶させてください。
- 放送局名を入力すると、表示中に別のプリセット番号に記憶させても放送局名が表示されます。
  ただし、オート選局やマニュアル選局でその周波数を受信したときは放送局名が表示されません。
- 放送局名は、MDに録音してもトラックタイトルには記録されません。
- FM放送のオートプリセットは、76.0MHz〜90.0MHzの間で自動選局し記憶します。

間
く

オートプリセット

1 FM/AM /AUX を押してFMまたはAMを選ぶ

・ソース(音源)が「ラジオ」になります。

2 オートプリセット ワタシ 0 を2秒以上押す

受信できる放送局が自動で記憶され、その局のプリセット番号と受信周波数が表示されます。
- 受信できるすべての放送局が記憶されるか、プリセットの最大数(FMで30局、AMで15局)まで記憶されると、オートプリセットは終了します。
- 雑音の多い放送局もプリセットされることがあります。
- 前に記憶されていた放送局があっても、新しくプリセットされた放送局が上書きされます。このとき、登録済みの放送局名も一緒に全て取り消されます。

オートプリセットが終了すると、プリセット番号1に記憶した放送局が受信されます。

● 放送局名を入力する(最大8文字)

プリセット選局で受信中の放送局に局名をつけることができます。なお、オート選局やマニュアル選局で受信中は、できません。

1. タイトル/編集 を押す

2. 表示/文字 と数字ボタン(ア・記号 1〜10、≧10、オートプリセット ワタシ 0)で局名を入力する➡文字の入力方法は***36***ページ手順***5***〜***6***参照

3. ENTER を押す

・入力した局名が登録されます。
　受信周波数の代わりに表示されます。

マニュアルプリセット

1 FM/AM /AUX を押してFMまたはAMを選ぶ

・ソース(音源)が「ラジオ」になります。

2 (または ⏮)を押して記憶させる放送局を選ぶ

➡***16***ページ「オート選局／マニュアル選局」参照

3 SET を押す

・プリセット番号1が点滅します。

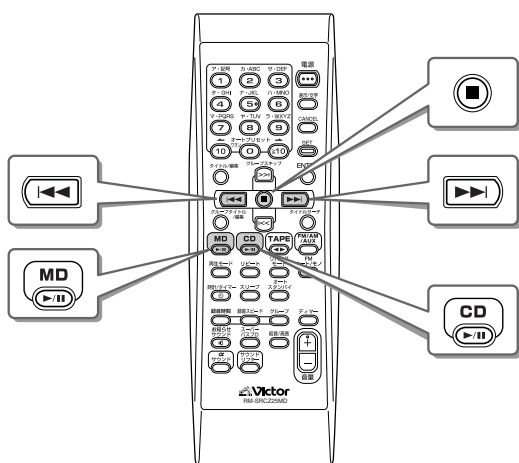
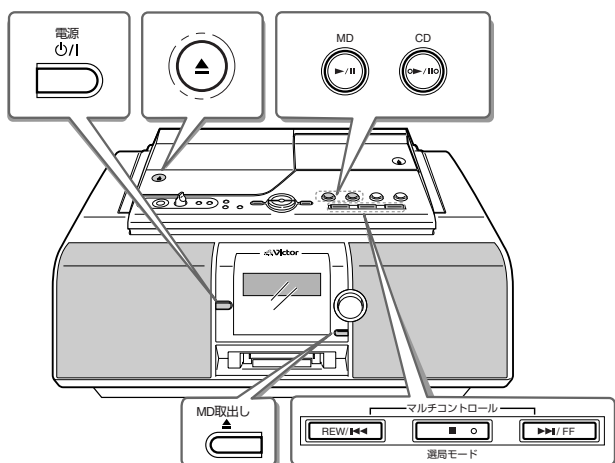
4 数字ボタン(ア・記号 1〜10、≧10、ワタシ 0)を押して記憶したいプリセット番号を選ぶ

- すでに記憶されていたプリセット番号を指定すると、新しく選んだ放送局が上書きされます。
  オートプリセットで不要な局がプリセットされているときなどメモリー内容を変更するのに便利です。
- 数字ボタンの使いかたは、***16***ページの手順***2-A***「放送局が記憶(メモリー)してあるとき」を参照してください。

5 SET を押す

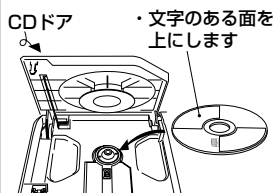
約2秒間、「STORED(ストアド)」が表示されます。表示が消えると記憶(メモリー)されます。

(FM放送の場合、オート受信またはモノラル受信のモードも記憶されます)

CDを聞く/MDを聞く

1 CDまたはMDを入れる

・CDを聞くとき

1-1 CDドアの▲表示部を押してCDドアを開ける

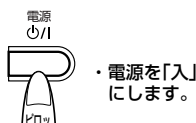
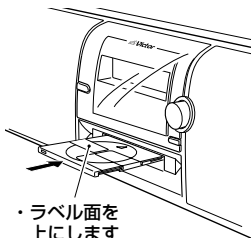
1-2 CDを入れる

1-3 CDドアの▲表示部を押して閉める

・「カチッ」と音がするまで確実に押して閉めてください。CDを入れると、表示窓の⊙が⊛表示に変わって表示されます。

（CDが入っていないことを検出する前は⊛表示のままです）

・MDを聞くとき

1-1 電源を押す

・電源を「入」にします。

1-2 ラベル面を上にし、矢印の方向（⇨または▷）から差し込む。途中まで入れると自動的に中に引き込まれます。

・ラベル面を上にします

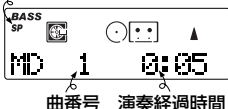
・MDが入ると表示窓の▢が▣表示に変わって表示されます。

2 CD ⏯ または MD ⏯ を押す

● リモコンは CD ⏯ または MD ⏯ を押す

• ソース（音源）が「CD」になります。

• ソース（音源）が「MD」になります。

再生時間のモード表示

MDによっては曲名やグループ番号が先に表示されます。

• 1曲目から演奏がスタートし、全部の曲の演奏が終わると、自動停止します。

	操　作
演奏をとめる	■（停止）を押します。 総曲数と総演奏時間が表示されます。
一時停止する	CD▶/Ⅱ（またはMD▶/Ⅱ）を押します。演奏経過時間表示が点滅します。もう一度押すと、停止したところから演奏を再開します。
曲の頭出し（スキップ）	⏮ ：押すごとに戻ります。演奏中に押すと、その曲の頭に戻ります。 ⏭ ：押すごとに次の曲の頭に移ります。 停止中に押すと、曲ごとの演奏時間が分かります。
曲の早送り・早戻し（サーチ）	・演奏中に押し続けます。 ⏮ ：早戻しができます。 ⏭ ：早送りができます。 （演奏音が小さく聞こえます）

● MDを取り出すには

▲MD取出しを押します。MDが出てきます。ソース（音源）が「MD」のときは、表示窓に「EJECT」が表示され「MD NO DISC」表示に変わります。

MDの再生時間のモードについて

MDは録音したときの録音時間のモードに従って演奏されます。演奏が始まると、表示窓にそのMDの再生時間のモードが表示されます。

- ***SP*** ：本機でステレオ録音したMDまたはMD LPに対応していないMDレコーダーで録音したMDのとき
- ***LP2*** ：ステレオ2倍長時間録音したMDのとき
- ***LP4*** ：ステレオ4倍長時間録音したMDのとき

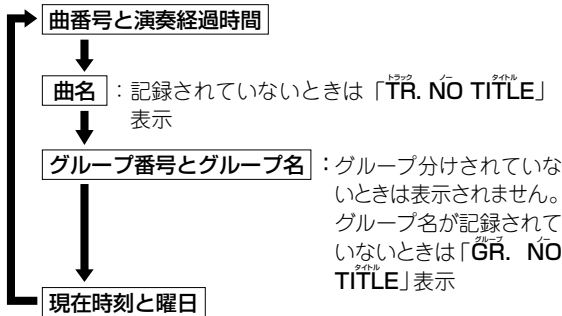
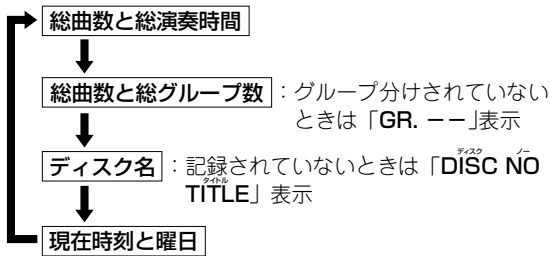
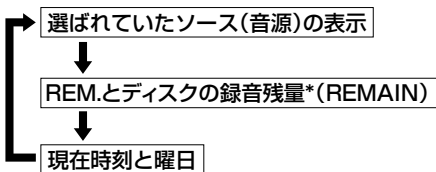
MDを入れたときの表示について

● ソース（音源）がMDのときのみ

「Loading ➡ Reading表示 ➡ ディスク名（記録されているときのみ）➡ 総曲数と総演奏時間」と表示されます。
未録音のMDを入れると「BLANK DISC」と表示されます。

表示窓の表示を変えるには

リモコンの**表示/文字**を使います。押すごとに次のように変わります。長い曲名やディスク名は、スクロール表示されます。

・MD演奏中は

・MDが停止中は（ソースが「MD」のとき）

● ソース（音源）がMD以外のときは

が押すごとに表示されます。

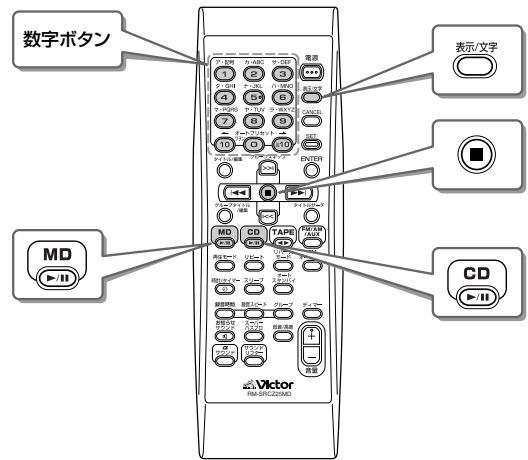
＊再生専用MDはREM. 0:00 表示

〈お知らせ〉

- 文字のある面にCOMPACT disc DIGITAL AUDIO、COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable またはCOMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordableのいずれかのマークが入っているCDをお使いください。
- 本機では、CD規格（CD-DA）に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
  CDを演奏するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。
- CDやMDの取り扱いについては、*7*ページをご覧ください。
- CDやMDが入っているときは、CD ▶/IIまたはMD ▶/IIを押すだけで演奏が始まります。
- MDを使用しないときは、挿入口から取り出しておいてください。
- 電源を「入」にすると、MD部から「カチッ」という音がします。これはMD部に電源を供給するための音で故障ではありません。

ダイレクト演奏

聞きたい曲の番号と同じ数字ボタンを押すと、直接その曲から聞くことができます。これをダイレクト演奏といいます。

1 **CD ▶/II → ■ または MD ▶/II → ■ を押す**

- ソース（音源）が「CD」になります。
- ソース（音源）が「MD」になります。

2 **数字ボタン（1〜10、≧10、0）を押して聞きたい曲を選ぶ**

1〜10の曲番号を選ぶとき

数字ボタンの1〜10のいずれかのボタンを押します。

11以上の曲番号を選ぶとき*

15曲目を選ぶ ：≧10 → 1 → 5

20曲目を選ぶ ：≧10 → 2 → 0

と押します。

21以上の曲番号を選ぶとき

25曲目を選ぶ ：≧10 → 2 → 5

30曲目を選ぶ ：≧10 → 3 → 0

と押します。

＊10の位を選ぶときは、先に≧10を1回押し、100の位を選ぶときは≧10を2回押してから曲番号を入力します。

（MDの場合、≧10 → ≧10 → 1 → 0 → 0 を押すと100曲目が選べます）

押した数字の曲番号が表示され、ダイレクト演奏が始まります。

● **演奏中も別の曲に変更できます。**

聞きたい曲の数字ボタンを押してください。
押した曲番号に表示が変わり、曲の頭からダイレクト演奏が始まります。

CDを聞く/MDを聞く(つづき)

プログラム演奏

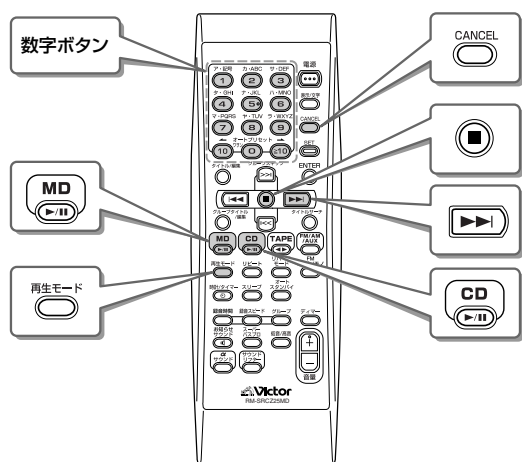
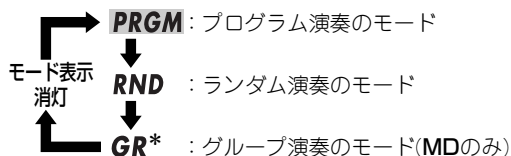
CDは最大20曲、MDは最大32曲までプログラム(予約)することができます。これ以上はできません。

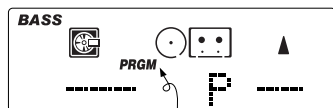
1 CD ➡ ■ または MD ➡ ■ を押す

- ソース(音源)が「CD」になります。
- ソース(音源)が「MD」になります。

演奏がとまったら

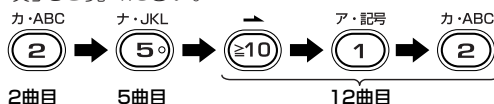
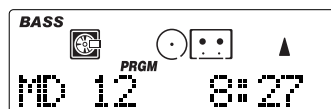
2 再生モード を押して「PRGM(プログラム)」を選ぶ

モード表示消灯

- PRGM：プログラム演奏のモード
- RND：ランダム演奏のモード
- GR*：グループ演奏のモード(MDのみ)

・押すごとに変わります。

例：MDのプログラム演奏のとき

プログラム演奏のモード表示

＊GRは…
ソース(音源)がMDのときに限り表示されます。

3 数字ボタン(1〜10、≧10、0)を押してプログラムする

- 数字ボタンの使いかたは➡**19**ページの「ダイレクト演奏」をご覧ください。

例：MDに3曲プログラムしたとき

- 2秒後に予約の最後の曲番号とプログラムの合計時間が表示されます。ただし、CDは99:59を超えると−−：−−表示になります。MDは150:59を超えると−−−：−−表示になります。

4 CD または MD を押す

・CDのとき

・MDのとき

- プログラムした順に演奏されます。演奏が終わると自動停止しますがプログラムは残ります。

● プログラム内容の確認(停止状態のときのみ)

▶▶|を押すごとに、プログラム1からの曲番と順番が表示されます。なお順番の表示から2秒後に、プログラムの合計時間に変わります。

● プログラムを間違えたときは

停止状態のときCANCELボタンを押します。押すごとに最後のプログラムから取り消されます。

● プログラム演奏のモードを取り消すには

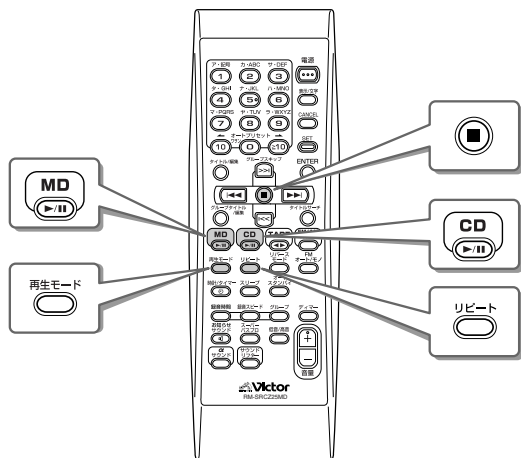
CDまたはMDを取り出すと取り消されます。また電源を切ったときも、取り消されます。プログラム内容も全部取り消されます。

〈お知らせ〉

- プログラム演奏を利用すると、CDやMDに収録されている曲の中から、好きな曲だけを選んで聞くことができます。また、CDの同じ曲をくり返しプログラムしてMDやテープに録音することもできます。なお、MDやテープにプログラムしてシンクロ録音するときは、上記の手順**4**の操作は必要ありません。

無作為な順番で聞く(ランダム演奏)

本機が曲順を無作為(ランダム)に選んで演奏します。

1

● ソース(音源)が「CD」になります。

● ソース(音源)が「MD」になります。

演奏がとまったら

2 再生モード を押して「RND(ランダム)」を選ぶ

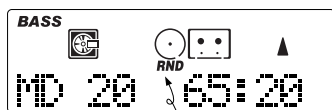
PRGM：プログラム演奏のモード

RND：ランダム演奏のモード

GR：グループ演奏のモード(MDのみ)

モード表示消灯

・押すごとに変わります。

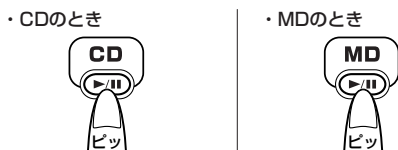
例：MDのランダム演奏のとき

ランダム演奏のモード表示

3 CD または MD を押す

・CDのとき

・MDのとき

MD

ピッ

●無作為な順番に全曲を演奏すると、自動停止します。

くり返して聞く(リピート演奏)

1曲または全曲をくり返して聞くことができます。

1 CD または MD を押す

● ソース(音源)が「CD」になります。

● ソース(音源)が「MD」になります。

2 リピート を押してリピート演奏のモードを選ぶ

(1曲リピート)：演奏中の1曲のくり返し(数字ボタンを使うとダイレクトに曲が選べます)

ALL(全曲リピート)：全曲(またはプログラムした曲)のくり返し

消灯(リピート解除)

・押すごとに変わります。

●リピート演奏をやめるには

リピートを押してリピート表示を消灯させ、「リピート解除」にします。

●ランダム演奏をくり返すには

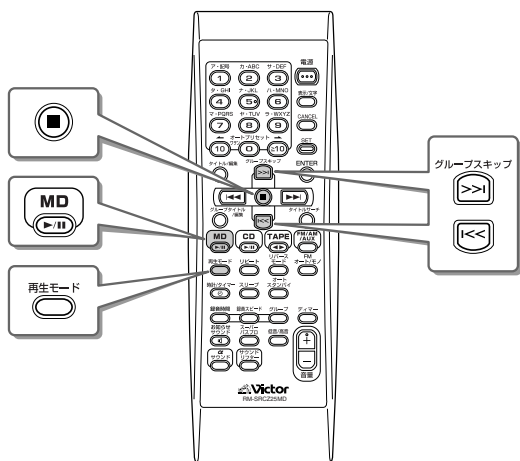
ランダム演奏中に**リピート**を押すと、全曲リピートのランダム演奏になります。

●ランダム演奏のモードを解除するには

次のいずれかの操作をします。
・CDまたはMDを取り出す
・停止中に**再生モード**を押して「RND」表示を消す
・電源を切る

聞く

MDのグループ演奏

グループ設定されているMDは、グループ機能*を使うことができます。

＊グループ機能とは…

ステレオ長時間録音(MD LP)により1枚のMDに多くの曲が録音できるようになりました。このMDに録音された曲をいくつかのまとまり(グループ)に分けて利用する機能のことです。

1曲でもグループにすることができ、一つのMDが全部で99グループに分けられます。

1 グループ分けされているMDを入れる

2 MD ▶/II を押してから■を押す

● ソース(音源)が「MD」になります。

演奏がとまったら

3 再生モード を押して「GR」を選ぶ

PRGM：プログラム演奏のモード

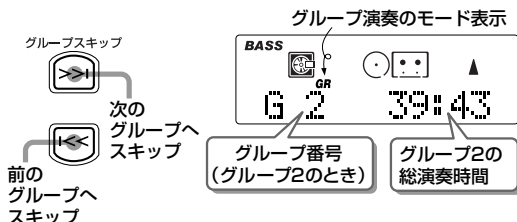
RND：ランダム演奏のモード

GR：グループ演奏のモード

モード表示消灯

・押すごとに変わります。

4 グループスキップ >>I (またはI<<)を押して演奏したいグループを選ぶ

例：グループ2を選んだとき

5 MD ▶/II を押す

● グループ演奏がスタートし、グループ内の全曲を演奏し終わると自動停止します。

● グループ演奏中に数字ボタン(1〜10)を押すと、グループ演奏のモードが解除され、その曲からダイレクト演奏になります。

● グループ分けされていないMDのときは、MD▶/IIを押すとグループ演奏のモードが解除され通常の演奏になります。

● くり返しグループ演奏する

グループ演奏中にリモコンの**リピート**を押して *ALL*を選ぶと、グループ内の全曲をくり返して聞くことができます。

● 演奏グループを変える(グループスキップ)

グループ演奏中に**グループスキップ>>I**(または**グループスキップI<<**)を押します。

・通常演奏中にグループスキップをすると、そのグループの最初の曲からMDの最後の曲まで演奏されます。

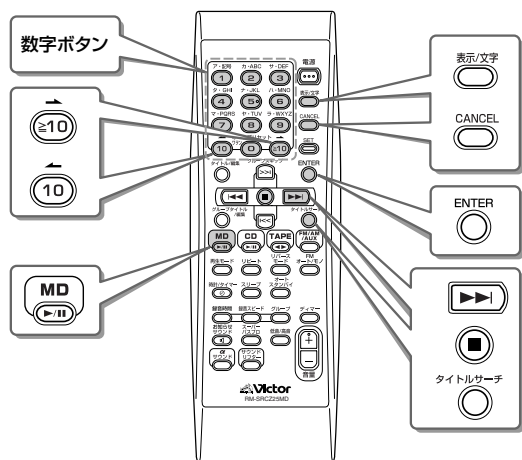
● グループ演奏のモードを解除する

停止中に**再生モード**をくり返し押して、表示を「GR」以外にします。

数字ボタンを押してもグループ演奏のモードは解除され、押した数字の曲からのダイレクト演奏になります。

またMDを取り出すか電源を「切」にしたときも解除されます。

MDのタイトルサーチ

本機では、曲タイトルを探して(タイトルサーチ)希望する曲を演奏することができます。
タイトルを探したいMDを本機に入れておきます。

1 MD を押してから ■ を押す

● ソース(音源)がMDになります。

演奏がとまったら

2 タイトルサーチ を押す

表示窓が入力表示に変わり「SEARCH(サーチ)」が表示されます。

● ソース(音源)がMD以外のときはタイトルサーチできません。

文字の入力位置(点滅)　入力される文字の種類(カタカナ)

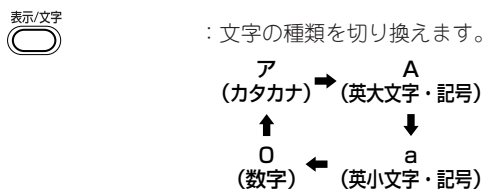
3 探したいタイトルを入力する

探したいタイトルの最初の1〜5文字まで入力できます。

例:「F」と入力したときは、「F」で始まるタイトルを曲番号順に探します。
「Frien」と入力したときは、「Frien」で始まるタイトルを曲番号順に探します。

入力には次のボタンを使います。

表示/文字 :文字の種類を切り換えます。

ア(カタカナ) → A(英大文字・記号) → a(英小文字・記号) → 0(数字) → ア(カタカナ)

10(または≧10) :入力位置を移動します。
数字ボタン(1〜9、0) :くり返し押して希望する文字を入力します。
CANCEL :間違えたとき入力位置の文字を消します。

● 詳しい入力方法は***36***ページの「**タイトルをつける**」の手順**5〜6**を参照してください。
● 空白(スペース)も文字として扱われますが、空白(スペース)の後ろに文字がないときは、無視されます。
● 英大文字と英小文字は区別されます。
● タイトルが記録されていない曲(TR. NO TITLE)を探すときは、何も入力しないで手順**4**に進みます。
● 途中でやめるときは、**タイトルサーチ**または■(停止)を押します。

4 ENTER を押す

「SEARCH」と表示され、タイトルサーチが始まります。
曲が見つかると演奏が始まります。
演奏が終わると再び次のタイトルサーチが始まります。

● 曲が見つからないときは、「SEARCH(サーチ) END(エンド)」と表示され、自動停止します。

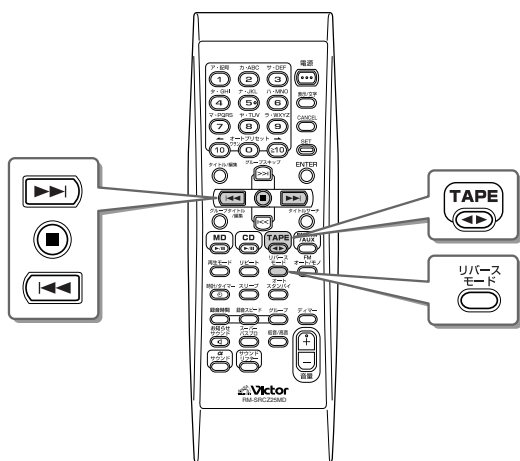
● タイトルサーチをやめる

タイトルサーチを押すと、「SEARCH END」と表示してタイトルサーチが解除され、演奏中の曲の頭に戻って演奏を続けます。

● 次の曲を探すには

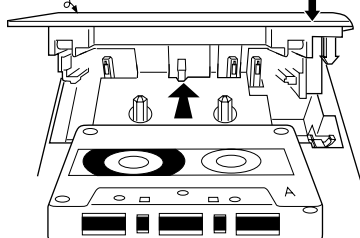
▶▶I を押すと、「SEARCH」と表示され次の曲のタイトルサーチが始まります。曲が見つからないときは、「SEARCH END」と表示され、タイトルサーチが終了します。

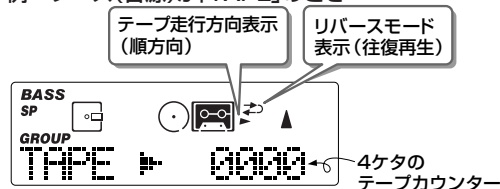
テープを聞く

ノーマルテープ(TYPE I)に限り再生ができます。

ご注意

- テープに**たるみ**があると、機械内部に巻き込まれたり故障の原因となります。ご使用の前に**たるみ**を取り除いてください(➡**6**ページ参照)。
- **C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。**長い時間の録音または再生に便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、機械内部に巻き込まれる原因となります。

1 カセットホルダーの▲表示部を押してカセットホルダーを開け、テープを入れる

A面を上にし、テープの見える面を手前にして入れます。

- C-90(90分)以下の長さのテープをご使用ください。
- カセットホルダーを閉めるときは、「カチッ」と音がするまで確実に押して閉めてください。
  テープを入れると、表示窓の［表示］が［表示］に変わって表示されます。

例：ソース(音源)が「TAPE」のとき

2 リバースモードを押してリバースモードを選ぶ

押すごとに、表示窓のリバースモード表示は次のように切り換わります

- ⇄ ：A面(おもて面)、またはB面(うら面)のみの**片道再生**
- ⇄⊃ ：A面(おもて面)からB面(うら面)への**往復再生**
- ⊂⇄⊃ ：AB両面の**連続再生**(再生を停止するまでくり返し)

3 TAPE ◀▶ を押す

ソース(音源)が「TAPE」になり、テープの再生が始まります。

- TAPE ◀▶を押すごとに、テープの走行方向が変わります。テープを入れた最初は、必ず**順方向(おもて面)から**走行します。「TAPE」と4ケタのテープカウンターが表示されます。
- テープの順方向再生中は右向き(▶)のテープ走行方向表示が、テープの逆方向再生中は左向き(◀)のテープ走行方向表示が表示されます。
- ⇄または⇄⊃で再生した場合、テープが巻き終わると自動停止します。

●再生を停止する

■(停止)を押します。
カセットホルダーを開けてテープを取り出すときは、必ず■(停止)を押してテープを止めてからカセットホルダーの▲表示部を押します。開けると4ケタのテープカウンターが「0000」になります。

●テープを早送り／巻き戻しする

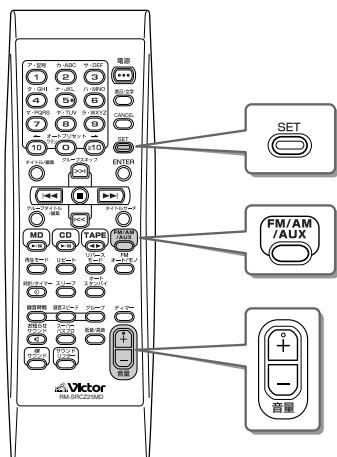
ソース(音源)が「TAPE」のとき▶▶I(またはI◀◀)を押します。

- ・走行方向が順方向(▶)のときは、▶▶Iが早送り、I◀◀が巻き戻しになります。
- ・走行方向が逆方向(◀)のときも、▶▶Iが早送り、I◀◀が巻き戻しになります。

〈お知らせ〉

- **本機は、ノーマルテープ(TYPE I)の再生に対応しています。**ハイポジションテープ(TYPE II)やメタルテープ(TYPE IV)は、特性が異なるためお勧めできません。再生すると音質が変わります。
- 本体の▶▶Iボタンには FF(早送り)が、I◀◀ボタンには REW(巻戻し)が表示してあります。

他の機器の音声を聞く

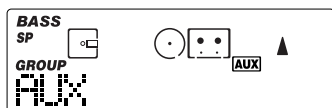
本機背面のAUX IN端子に接続した他のオーディオ機器の音声を楽しむことができます。
・ご使用になる機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。

ご注意

- 接続するときは、接続する機器だけでなく、本機側も必ず電源を「切」にしてから接続してください。

1 背面のAUX IN端子に他の機器をつなぐ

- レコードプレーヤーを接続するときは、フォノイコライザー(またはフォノイコライザー内蔵タイプ)が必要です。

(➡*13*ページ「他の機器の接続」参照)

2 [FM/AM /AUX]を押して、表示窓に「AUX(エーユーエックス)」と表示させる

3 他の機器の演奏を始める

- 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

4 音量、音質などを調節する

(➡*14*、*15*ページ参照)

他の機器の音声入力レベルを調節する

接続した他の機器の音声入力レベルを調節することができます。
ソース(音源)がAUXのとき操作します。

1 入力レベルが表示されるまで[SET]を押し続け、レベルを選ぶ

SETを押し続けるごとに次のように切り換わります。

・LEVEL1　：他の機器からの音声**入力レベルが大きいときに選びます。**レベルが小さくなります(お買い上げ時の設定)。

↕

・LEVEL2　：他の機器からの音声**入力レベルが小さいときに選びます。**レベルが大きくなります。

表示された音声入力レベルは、約2秒で消えます。
指をいったん離してから再度SETを押して切換えます。

聞く

マイクミキシングをする

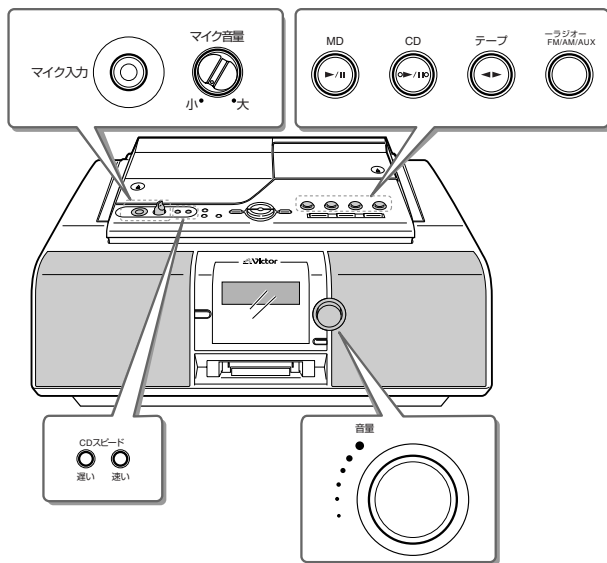
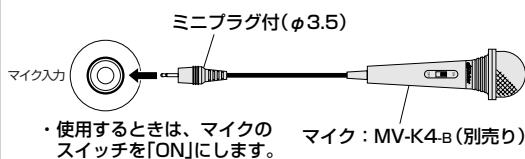
1 マイク入力端子にマイクを接続する

・使用するときは、マイクのスイッチを「ON」にします。

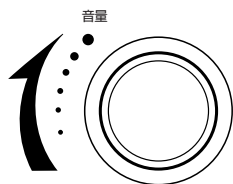
マイク：MV-K4-B（別売り）

2 ミキシングする音を出す

	操　作
CDを演奏する	CDを入れ、**CD ▶/II**を押す。
MDを演奏する	MDを入れ、**MD ▶/II**を押す。
テープを再生する	テープを入れ、**テープ ◀▶** を押す。
放送(ラジオ)の音声	**ラジオ FM/AM/AUX**を押して聞きたいバンドを選び、放送局を選ぶ。
他の機器の音声	**ラジオ FM/AM/AUX**を押してソース(音源)を「AUX」にし、レコードプレーヤーなどを演奏する。

● **音量つまみ**を回して適度な音を出します。

3 音量を調節し、マイクの音とミキシングする

● **マイクの音だけ出したいときは…**

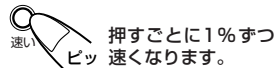
CDまたはMDの演奏、テープ再生を止めて使います。
また「AUX」のときは、他の機器の演奏を止めてください。

〈お知らせ〉

● マイクの正しい使いかた
- ・マイクは口元から2〜3㎝程度離して使います。
- ・マイクを吹いたりたたくと故障の原因になりますので、しないでください。

● スピーカーから「ピー」という音が出るときは、マイクを本機から離すかまたは音量を下げてください。

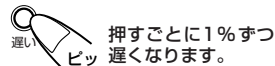
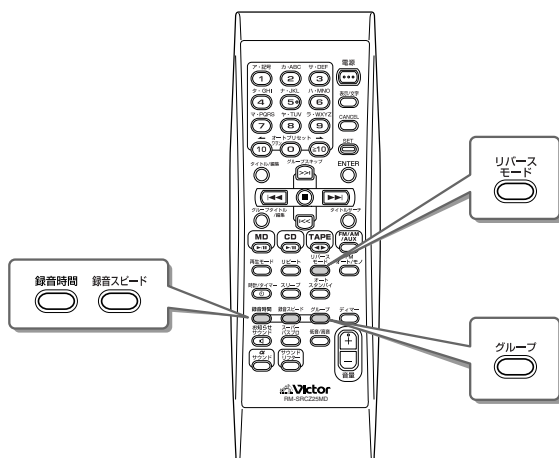
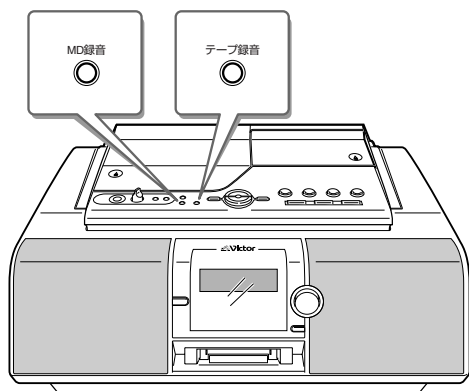
● 使い終わったらマイクは、抜いておいてください。

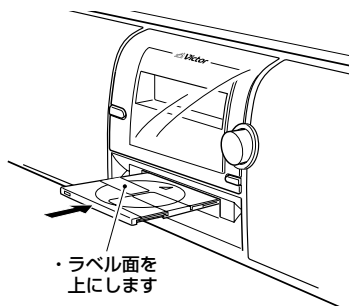
CDの演奏スピードを変える(本体のみ)

CDの演奏スピードを±12%の範囲で変えることができます。これをピッチコントロールといいます。ダンスの練習などに便利です。CDを演奏中に操作します。

調節範囲はSPEED 0±12です。SPEED 0が定速(標準スピード)です。

演奏スピードを速くするときは･･･

演奏スピードを遅くするときは･･･

ピッ **押すごとに1%ずつ遅くなります。**

● 使い終わったら必ず定速(SPEED 0)に戻しておいてください。なお、電源を「切」にしたりCDドアを開ける、または他のソース(音源)に切換えると、定速(SPEED 0)に戻ります。

● ミキシング中の音をMDに録音する

1 録音用のMDを入れる

2 リモコンで録音モードを選ぶ

(➡30ページ参照)

録音時間のモードのSP、LP2またはLP4のいずれかを選びます。

REC SPEED ×1（等速録音）* を選びます。

グループ録音するときはGROUP ON（GR表示点灯）にします。

* ミキシング中の音は、最大5倍速録音ができません。
必ず等速録音を選んでください。

3 MD録音 ◎ を押す➡録音スタート

● 録音中は REC 表示が点灯します。
● 録音について詳しくは***30***～***32***ページをご覧ください。

● MDの録音が終わると

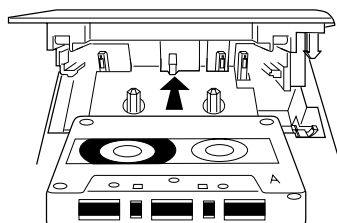
「Writing」表示のあと自動停止します。
テープ再生が終わったときも自動停止します。

● 録音を途中でやめるには

■（停止）を押します。
「Writing」表示のあと、録音が停止します。

● ミキシング中の音をテープに録音する

1 録音用のテープを入れる(➡24ページ参照)

(ノーマルテープ：TYPE I を使います)

・録音したい面を上にして入れます。
・リーダーテープの部分は先に送っておきます。

2 リモコンの(リバースモード)を押してリバースモードを選ぶ

● ⇄ ：往復録音

● ⇄⊃ ：片道の録音（A面またはB面のみ）

3 テープ録音 ◎ を押す➡録音スタート

● 録音中は REC 表示が点灯します。
● 録音について詳しくは***33***～***34***ページをご覧ください。

● 録音を途中でやめるには

■（停止）を押します。
CD（またはMD）の演奏が終わると、録音も自動停止します。

〈お知らせ〉

● マイクの音だけ録音したいときは、FM/AM/AUXを押してソース（音源）を「AUX」にし他の機器の演奏を止めてから録音状態にしてください。
● CDの演奏スピードを変えた状態で、MDに等速でミキシング録音ができます。録音を始める前に演奏スピードを変えてください。

録音する

録音する前に（本機では、MDへの録音とテープへの録音ができます）

MDに録音するとき

MDに録音できるソース（音源）

MDには、CD、放送（ラジオ）、テープ、接続した他の機器の音声（AUX）が録音できます。

MDでできる録音

●ステレオ長時間録音（MDLP）

全てのソース（音源）の音声を録音するときに使えます。
本機は、ステレオ長時間録音（MDLP）に対応しています。録音時間のモード（SP：標準／LP2：2倍長／LP4：4倍長）のLP2またはLP4を使うと、ステレオ音声のまま2倍長または4倍長の長時間で録音できます（➡30ページ「録音時間のモード設定」参照）。

●グループ録音

全てのソース（音源）の音声を録音するときに使えます。
録音開始から終わりまでを1つのグループとして録音することができます（お買い上げ時の設定）。
ステレオ長時間録音のとき、CDごとやアーティストごとに1つのグループにしておくと便利です。
・グループとして録音しない設定にすることもできます（➡30ページ「グループ録音の設定」参照）。

●CDの最大5倍速録音*

CDの音声を録音するときに使えます。
本機は、CDをMDに等速または最大5倍速で録音することができます。
・**CDの最大5倍速録音のときは、CDの演奏音を聞くことはできません。音量や音質調節をすると、「CANNOT LISTEN」とスクロール表示されます。**
・**CDの最大5倍速録音のとき、MDの録音残量時間を確認するには**
録音中に**表示／文字**を押して確認してください。

* CDの収録時間が30分以上の場合は最大5倍速録音、30分未満のときは、4倍速録音になります。

〈お知らせ〉
● 4倍速録音のときでも表示窓は、×5表示のままです。

●CDの1曲録音

演奏中のCDの音声を録音するときに使えます。
演奏中の曲の頭に戻り、1曲だけを録音することができます（演奏が終了すると、その曲のみ録音され自動停止します➡31ページ参照）。
・**最大5倍速でCDの1曲録音をしたときは、4倍速録音になります。**

〈お知らせ〉
● 4倍速録音のときでも表示窓は、×5表示のままです。

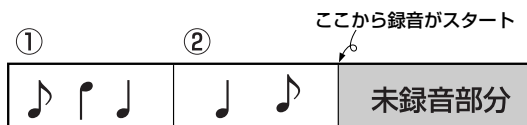
●シンクロ録音

CDまたはテープの音声を録音するときは、シンクロ録音になります。
CDまたはテープが停止中に操作すると、演奏開始と同時に録音を開始します。
演奏が終了すると録音も終了します。

トラックマークについて

MDには、曲ごとの頭の部分に曲番がついています。この曲番を「トラックマーク」と呼び、このトラックマークとトラックマークの間が「曲」としてみなされます。
● CDを録音するときは、曲の変わり目に自動でトラックマークがつきます。
● CD以外のソース（音源）を録音するときは、トラックマークのつけかたが選べます（➡32ページ手順2参照）。

録音をする前に

● 大切な録音の場合は必ず試し録音をして、設定通りに録音できることをお確かめのうえ、ご利用ください。
● MDには最大254曲（トラック）まで録音することができます。
● 音楽CDの音は、デジタル信号のまま録音されます。
CD-R/RW（デジタルオーディオ）の音は、「ピピピッ」とエラー音が鳴って「SCMS CANNOT COPY」が表示された場合、アナログ信号の等速で録音されます。
テープや放送（ラジオ）の音声は、アナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。
● **途中まで録音してあるMDのときは、その終わりを自動的に探し、未録音部分の始めから録音されます。**

テープのように上書きで録音することはできません。
新たに録音し直すときは、ALL ERASE（➡41ページ参照）で全部の曲を消してから録音してください。
● 録音をしながらMDに曲タイトルをつけることができます（➡37ページ参照）。
● **録音中は、本機の音量・音質を変えても録音される音には影響ありません。**

ご注意

● MDの録音／編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「Writing」の表示中は注意してください。MDが演奏できなくなるおそれがあります。

MDカートリッジのラベルについて
● MDカートリッジのラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりもはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

テープに録音するとき

録音に使うテープ

録音にはノーマルテープ(TYPE I)を使います。他のテープは、特性が異なるため正しく録音されません。

テープに録音できるソース(音源)

テープには、CD、MD、放送(ラジオ)、接続した他の機器の音声(AUX)が録音できます。

テープでできる録音

● 両面往復録音

全てのソース(音源)の音声を録音するときに使えます。
テープのリバースモードを⇄(往復)に設定すると、テープのおもて面からうら面に続けて録音することができます。

● CDまたはMDの1曲録音

演奏中のCDまたはMDの音声を録音するときに使えます。
演奏中の曲の頭に戻り、1曲だけを録音することができます(演奏が終了すると、その曲のみ録音され自動停止します➡***34***ページ参照)。

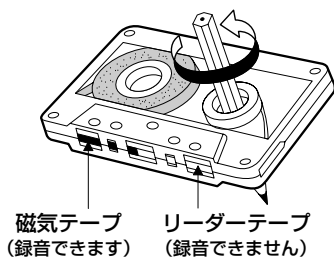
● シンクロ録音

CDまたはMDの音声を録音するときは、シンクロ録音になります。
CDまたはMDが停止中に操作すると、演奏開始と同時に録音を開始します。
演奏が終了すると録音も終了します。

お知らせ

リーダーテープについて
テープの始まりと終わりには、録音できない部分(リーダーテープ)があります。録音する前にこのリーダーテープの部分を巻き取っておきます。

磁気テープ
(録音できます)
リーダーテープ
(録音できません)

ご注意

- ハイポジション(TYPE II)やメタルテープ(TYPE IV)には対応しておりませんので、使用しないでください。特性が異なるため、正しく録音されません。また、再生しても正しい音質にはなりません。

MDに録音する

● ステレオ長時間録音（MDLP）について

「MDLP」では１枚のMDに違う録音時間のモード（SP：標準／LP2：2倍長／LP4：4倍長）の曲を混在させて録音することもできます。またMDの録音残量表示は録音時間のモード設定に応じて変わります。

- ･*SP*　：標準のステレオ録音（MD80で最大80分の録音）
- ･*LP2*　：2倍長時間録音（ステレオ）（MD80で最大160分の録音）
- ･*LP 4*　：4倍長時間録音（ステレオ）（MD80で最大320分の録音）

（LP2・LP4は）ラジオ放送の長時間録音などに使用すると便利です。

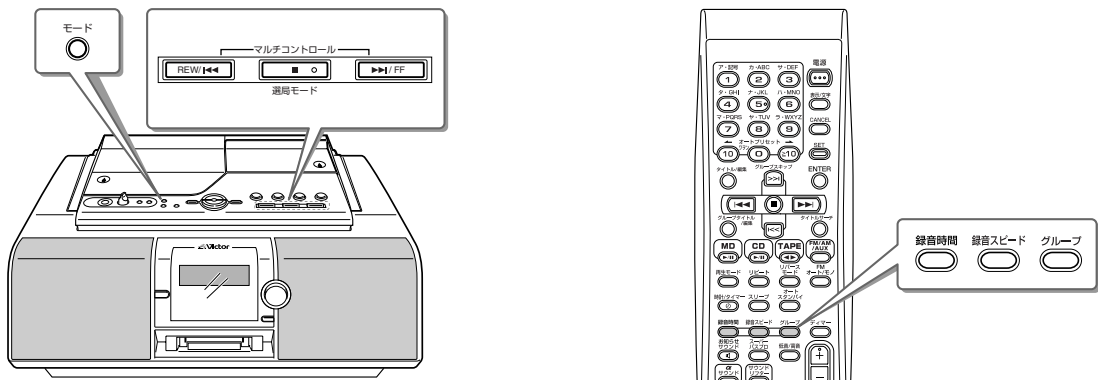
〈お知らせ〉
- 本機は、通常の2倍の時間で録音できる「モノラル録音」には対応しておりません。ただし、モノラルソース（音源）をMDLPの各モードで録音することはできます。

ご注意

- **本機でステレオ長時間録音された曲は、「MDLP」の再生に対応した機器以外では演奏できません。**曲タイトルの始めにLP：と表示され、無音状態になります。本機または「MDLP」に対応した機器で演奏すると、LP：は表示されません。またLP：をつけない設定にすることもできます。
- MDの編集をするとき、録音時間のモード（SP／LP2／LP4）の異なる曲をつなげる（JOIN）ことはできません。

● CD-R/CD-RWディスクの録音

CD-RまたはCD-RWディスクの音声をMDに録音するとき、本体のMD録音を押すと、「ピピピッ」とエラー音が鳴り表示窓に「SCMS CANNOT COPY」が表示されデジタル録音はできません。しばらくするとアナログ録音に切り換わり録音が自動でスタートします。
この場合、録音スピードが5倍速録音に設定されていても等速録音になります。

MDに録音する前の設定

MDに録音する前に録音モードを設定しておきます。ソース（音源）はMD以外にします。

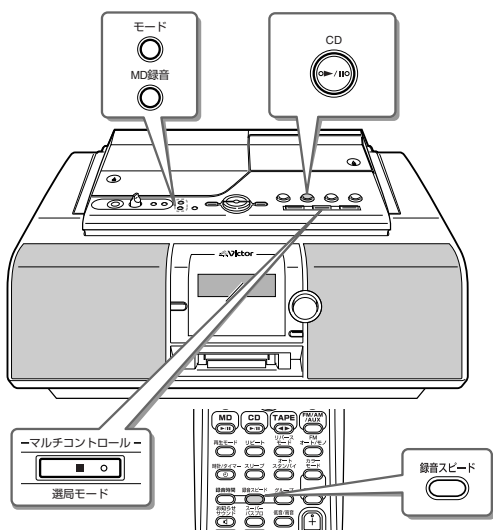
モードボタンで録音モードを選ぶ	録音ソース（音源）	▶▶I（またはI◀◀）ボタンで設定を変える
録音時間のモード設定＊1	ソース（音源）ごとに設定する（FM／AM、AUXは別々に設定できません）	REC TIME SP（標準）→ REC TIME LP2（2倍長）→ REC TIME LP4（4倍長）：SP、LP2またはLP4が表示されます。
録音スピードの設定＊1	ソース（音源）がCDのときのみ	REC SPEED ×1（等速録音）↔ REC SPEED ×5＊2（最大5倍速録音） ×1または×5が表示されます。
トラックマークのつけかた	ソース（音源）がテープ再生、放送および他の機器の音声のときのみ［各ソース（音源）共通］	MANUAL MARK：リモコンのSETを押してつける TIME MARK：5分ごとに自動でつく AUTO MARK：3秒以上の無音部分を検出すると自動でつく。また、リモコンのSETを押してつけることもできます。
グループ録音の設定＊1	各ソース（音源）共通	GROUP ON（グループ録音するとき「GROUP」が表示されます）↔ GROUP OFF（グループ録音はしません）
LP：の設定	各ソース（音源）共通（ステレオ長時間録音するとき）	（LP：）ON（LP：をつけて録音）↔（LP：）OFF（LP：をつけないで録音）

ソース（音源）の表示

〈お知らせ〉
- リモコンの場合、＊1印の録音モードの設定がダイレクトに選べます。
- 　　　　がお買い上げ時の設定です。
- 録音時間のモード（録音時間）、録音スピード（録音スピード）、グループ録音（グループ）の設定はリモコンのボタンでダイレクトに内容が変えられます。
- 「トラックマークのつけかた」と「LP：の設定」は本体に限り設定が変えられます。
- 表示窓は、設定から4秒後に元のソース（音源）の表示に戻ります。

＊2 CDの演奏スピードが定速（SPEED 0）のときのみ

CDからの録音

CDのシンクロ録音やプログラムした曲の録音、演奏中の曲だけを録音する1曲録音ができます。
・**録音レベルは自動調節されます(ALC録音方式)。**

● **全曲(またはプログラムした曲)の録音**

1 CD ○ **を押してから** マルチコントロール 選局モード **を押す**

● ソース(音源)が「CD」になります。
CDが停止状態になり、総曲数と総演奏時間が表示されます。
停止させないときは、1曲録音になります。

2 録音用のMDを入れる

モード ○ を押して録音時間のモード設定、録音スピードの設定、グループ録音の設定およびLP：の設定を確認しておきます。設定状態は➡*30*ページ「**MDに録音する前の設定**」を参照してください。

- 誤消去防止用のつまみは閉じておきます(➡*7*ページ参照)。
- 録音残量時間の確認は*19*ページをご覧ください。

● **好きな曲だけ録音するには(等速録音のみ)**
①リモコンの**再生モード**を押して「PRGM」を選ぶ
②数字ボタンを押して曲をプログラムする
➡詳しくは*20*ページ「**プログラム演奏**」参照

3 リモコンの 録音スピード ⬭ **を押して録音スピードを選ぶ**

REC SPEED x1 (等速録音)
↕
REC SPEED x5 (最大5倍速録音)

・押すごとに変わります。

● CDのプログラム演奏、ランダム演奏のときは最大5倍速録音ができません(手順4の操作をすると、「ピピピッ」とエラー音が鳴りCANNOT RECが表示されます)。必ず等速録音を選んでください。
また、最大5倍速録音をするときは、CDの演奏スピードを必ず定速(SPEED 0)にしてください。

HCMS(倍速録音での著作権保護)について

MDへの倍速録音では、著作権保護のため倍速(等速を超える)録音に関する規定があります(➡*54*ページ参照)。

- この規定により、CDから一度最大5倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の再録音(5倍速)はできません。
- 74分が経過する前に同じ曲を最大5倍速録音しようとすると、「ピピピッ」とエラー音が鳴り「HCMS CANNOT COPY」が表示されて録音が停止します。

ご注意

- 5倍速録音中は、演奏音を聞くことはできません。
- 5倍速録音ではディスクを高速で回転させるため、CDの状態によっては正しく録音されず、次のような症状が出ることがあります。
  - **・MDにノイズが録音される。**
  - **・MDに不要なトラックができたり、録音が途中で停止する。**

このようなときは、等速で録音し直してください。

4 MD録音 ○ **を押す**

CDの演奏開始と同時にMDの録音もスタートします(シンクロ録音)。REC表示が点灯し、曲の変わり目に自動でトラックマークがつきます。
例：最大5倍速録音のとき(演奏音はでません)

MDの録音が終わると「Writing(ライティング)」表示のあと自動停止します。このとき録音終了音と「MD REC END」が表示され、録音の終わりを知らせます。CDの演奏が終わったときも自動停止します。他のボタンを押すと「MD REC END」表示が消えます。

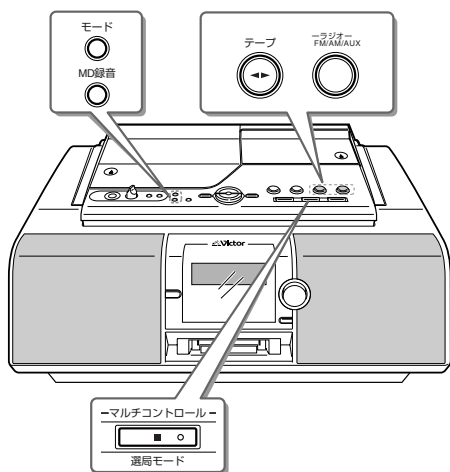
● **途中で録音をやめる**
■(停止)を押します。
MDとCDが同時に停止し、「Writing」表示のあと「MD REC END」と表示して録音が終了します。

● **▶▶❙または❙◀◀で曲番号を指定する**
通常のCDの場合、指定した曲番号以降の曲を録音します。
手順**4**で**MD録音**を押す前に操作してください。

● **演奏中の曲だけを録音する(1曲録音)**
録音したい曲の演奏中に、**MD録音**を押します。
リモコンの数字ボタン(1〜10、≧10、0)を使うと便利です。演奏中の曲の頭に戻り、1曲録音になります。CDの演奏が終わると、MDも自動停止します。このとき録音終了音と「MD REC END」が表示され、録音の終わりを知らせます。

MDに録音する（つづき）

放送（ラジオ）やテープ、他の機器の音声を録音

テープのシンクロ録音や他の機器からの録音ができます。
・録音レベルは自動調節されます（ALC録音方式）。

1 録音したいソース（音源）を選ぶ

ソース（音源）	操　作
放　送 （ラジオ）	**ラジオ FM/AM/AUX**を押してから、リモコンの数字ボタンなどで録音したい放送局を選局する。
テープ再生 （TAPE）	再生するテープを入れ,**テープ◀▶**を押してから■（停止）を押す。そのあとリモコンの**リバースモード**を押してリバースモード（⇄または⇄⊃）を選ぶ。
他の機器の音声 （AUX）	**ラジオ FM/AM/AUX**を押して外部入力を選び、他の機器の演奏を準備する。あらかじめ、他の機器の音声入力レベルを調節することもできます（➡**25**ページ参照）。

2 録音用のMDを入れる

モード◎を押して録音時間のモード設定、トラックマークのつけかた、グループ録音の設定および**LP：**の設定を確認しておきます。設定状態は➡**30**ページ「**MDに録音する前の設定**」を参照してください。

- **トラックマークのつけかたを選ぶ**
  モードを2回押して「MANUAL MARK」表示中に▶▶I（またはI◀◀）を押して選びます。

MANUAL MARK：リモコンの**SET**を押して自分でトラックマークをつける

TIME MARK：5分ごとに自動でトラックマークがつきます。

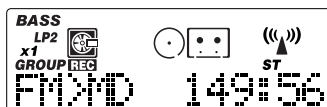
AUTO MARK：3秒以上の無音部分が続くと、自動でトラックマークがつきます。ただし、無音部分にノイズ等があるとトラックマークはつきにくくなります。
また、リモコンの**SET**を押してつけることもできます。

以後**モード**を押すと選んだモードが表示されます。

- 誤消去防止用のつまみは閉じておきます（➡**7**ページ参照）。

3 MD録音◎ を押す

録音がスタートし、REC表示が点灯します。
- テープ再生の場合、録音開始に合わせてテープ再生もスタートします（シンクロ録音）。
- 他の機器からの音声を録音する場合、接続した機器の演奏を始めます。

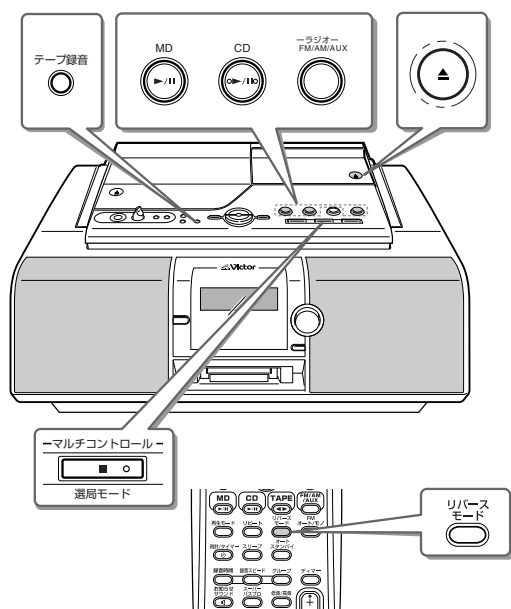
例：FM放送を録音するとき

● 表示窓の表示内容を換える
リモコンの**表示／文字**を押すごとに、録音中のソース（音源）名とMDの録音残量時間、MDの曲番号・グループ番号、現在時刻と曜日などに切り換わります。

● MDの録音が終わると
「Writing（ライティング）」表示のあと自動停止します。このとき録音終了音＊と「MD REC END」が表示され、録音の終わりを知らせます。
テープ再生が終わったときも自動停止します。
＊録音終了音はテープ再生から録音のときのみ

● 録音を途中でやめるには
■（停止）を押します。
「Writing」表示のあと、「MD REC END」が表示され録音が停止します。

〈お知らせ〉
- MDを入れたあと約10秒間は、**MD録音**を押しても録音はスタートしません。これは、録音の準備をしているためです。
- 録音時間のモードが長時間（**SP**➡**LP2**➡**LP4**）になるにしたがって音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、標準モード（**SP**）で録音することをお勧めします。
- テープ再生を録音するとき**A**面から**B**面に反転する間は、リーダーテープがありますので無音録音になります。
- 録音残量時間は、その**MD**の録音に使われる録音時間のモード（**SP**／**LP2**／**LP4**）に応じて異なります。
  例えば標準モードの**SP**で録音した**MD**の場合、残り10分という残量表示は、2倍長時間録音（**LP2**）ではその2倍の約20分となります。
- 放送や他の機器の音声の録音中に**MD録音**を押すと、一時停止ができます。このときREC表示が点滅し、トラックマークがつけられます。
  もう一度**MD録音**を押すと録音が再開します。
- **MANUAL MARK**でトラックマークをつけるときは、リモコンの**表示／文字**を押して**MD**の曲番号表示に切換えておくと、**SET**を押したとき曲番号が変わり受けつけたことが分かります。

テープに録音する

CDまたはMDのシンクロ録音やプログラムした曲の録音、演奏中の曲だけを録音する1曲録音ができます。
・曲間に4秒のあき(ブランク)を作って録音されます。**録音レベルは自動調節されます(ALC録音方式)。**
・**録音にはノーマルテープ(TYPE I)を使います。他のテープは使わないでください。**

1 録音用のテープを入れる(➡**24**ページ参照)

- ノーマルテープ(TYPE I)を使います。
- リーダーテープ*の部分は巻き取っておきます(➡**29**ページ参照)。
- 途中まで録音した位置で止まっているテープを入れると、その位置から録音されます。

2 リモコンの リバースモード を押してリバースモードを選ぶ

- ⇄ :片道のみ録音
- ⇄⊃ :A面(おもて面)からB面(うら面)へ往復録音

3 録音したいソース(音源)を選ぶ

ソース(音源)	操　作
CD	**CD▶/II**を押してから■(停止)を押します。
MD	**MD▶/II**を押してから■(停止)を押します。
放　送(ラジオ)	**ラジオ FM/AM/AUX**を押してから、リモコンの数字ボタンなどで録音したい放送局を選局する。
他の機器の音声(AUX)	**ラジオ FM/AM/AUX**を押して外部入力を選び、他の機器の演奏を準備する。あらかじめ、他の機器の音声入力レベルを調節することもできます(➡**25**ページ参照)。

4 テープ録音 を押す

テープの上の面から録音がスタートし、REC表示が点灯します。4ケタのテープカウンターが表示されます。

- ソース(音源)がCDまたはMDの場合、シンクロ録音機能によりCDまたはMDの演奏が自動でスタートし、終わるとテープも自動停止します。このとき録音終了音で録音の終わりを知らせます。
- ソース(音源)が他の機器の音声のときは、接続した機器の演奏を始めます。

例:CDを往復録音するとき

●録音を途中でやめるには

■(停止)を押します。
CD(またはMD)の演奏が終わると、録音も自動停止します。

●CDまたはMDのコンプリート録音機能(シンクロ録音時のみ)

曲の途中でテープが逆方向に反転すると、うら面(B面)には、次のように録音し直されます。
・順方向最後の曲の録音が12秒以下のときは前の曲の頭から
・順方向最後の曲を12秒以上録音していたときはその曲の頭から

*リーダーテープにご注意

カセットテープの始めには、リーダーテープ(録音できない部分)があります。録音するときは、あらかじめ再生状態でリーダーテープを巻き取っておいてください(➡**29**ページ参照)。

〈お知らせ〉

- 誤消去防止用のツメ(タブ)が折れていると、録音状態にはなりません(➡**6**ページ参照)。
- **録音済みのテープの音を消すには…**
  テープ ◀▶を押してから■(停止)を押し、ソース(音源)を「TAPE」に切換えて**テープ録音**を押すと、録音した音を消すことができます。無音のテープができます。
- 逆方向(◀)で録音が終わったときは、テープを取り出すとテープの走行方向は自動で順方向(▶)に戻ります。新しいテープを入れたときA面からの録音がしやすくなっています。
- リバースモードを⊂⇄⊃にして録音しても、リバース方向の巻き終わりでテープは自動停止します。録音中は⇄⊃が表示窓に表示されます。

- 生演奏などで全体が1曲で録音されているMDをテープに往復録音するときは、あらかじめDIVIDE(ディバイド)機能(➡**39**ページ参照)を使ってテープ片面の長さに合わせ、2曲に分けてください。

テープに録音する(つづき)

CD/MDの1曲だけを録音する(1曲録音)

ソース(音源)が「CD」または「MD」のとき

1 リモコンの数字ボタン(1〜10、≧10、0)で録音したい曲を選び、演奏する

2 本体のテープ録音を押す

・演奏中の曲の頭に戻り、1曲録音になります。CD(またはMD)の演奏が終わると、テープも自動停止します。このとき録音終了音で録音の終わりを知らせます。

曲間にあき(ブランク)を作らずに録音する

CDまたはMDを一時停止状態にしてから録音すると、収録されたままの内容で録音できます。

1 CD▶/II(またはMD▶/II)を2回押す

・一時停止になります。

2 本体のテープ録音を押す

・一時停止した曲の頭から録音されます。
・曲の始まりや終わりの無音部分は、そのまま録音されます(丸録り)。

好きな曲だけ録音する(プログラム録音)

ソース(音源)が「CD」または「MD」で停止状態のとき

1 リモコンの再生モードを押して「PRGM」を選ぶ

2 数字ボタン(1〜10、≧10、0)を押して曲をプログラムする

・CD▶/II(またはMD▶/II)は押さないでください。

3 本体のテープ録音を押す

・プログラムした曲が録音されます。

▶▶Iまたは I◀◀で曲番号を指定し録音する

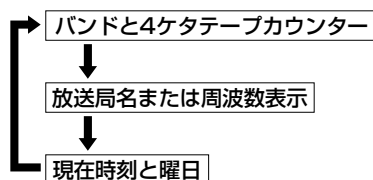
ソース(音源)が「CD」または「MD」で停止状態のとき

1 ▶▶I(またはI◀◀)で曲番号を選ぶ

2 本体のテープ録音を押す

・指定した曲番号以降の曲が録音されます。

●録音中の放送局名などを知るには

リモコンの**表示/文字**を使います。押すごとに次のように選べます。

●テープを巻き戻すには

1. TAPE◀▶を押してソース(音源)を「TAPE」にする
2. ■(停止)を押す
3. I◀◀(巻戻し)を押す
   ・テープが巻き終わると自動停止します。

●テープカウンターを「0000」にするには

停止状態のとき、カセットホルダーの▲表示部を押してテープの出し入れをすると、「0000」になります。
テープカウンターは、テープによって多少ズレることがあります。おおよその目安としてお使いください。

●AM放送録音中に「ピー」というビート音が出るときは

AMループアンテナを「ピー」というビート音が、最も小さくなる所に移動してください。

タイトルをつける

リモコンを使ってMDにディスクタイトル、曲タイトル、グループタイトルをつけることができます。
・ソース(音源)がMDのときリモコンで操作します。

タイトル編集について

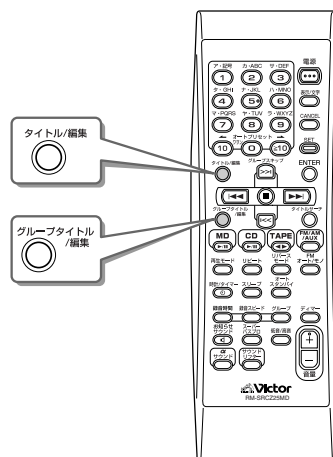
- タイトルは、**カタカナ、英大文字/英小文字、記号、数字**を使って**最大61文字まで**つけることができます。

MDに入力できる文字数について

1枚のMDにつき、最大1792文字(英数字・記号)、1曲につき最大61文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。

カタカナは1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。また、スペース(空白)は文字と同じ量のデータを必要とします。

例:
- ・ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつタイトル入力することができます。
- ・ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナで10文字ずつタイトル入力することができます。

- タイトル入力の操作をしたあとで**▲MD取出し**を押すと、MDが出てくる前に「Writing」が表示され編集した内容がMDに記録されます。
「Writing」が表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中で**タイトル/編集**または**グループタイトル/編集**を押すとタイトル入力はいつでも解除することができます。
- 再生専用MDにタイトルをつけることはできません。タイトルをつけようとすると、「ピピピッ」とエラー音が鳴り「PLAYBACK MD」と表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDにはタイトルをつけることができません。タイトルをつけようとすると、「ピピピッ」とエラー音が鳴り「DISC PROTECTED(ディスク プロテクテッド)」が表示されます。
- MDの演奏モードがプログラム演奏またはランダム演奏、グループ演奏になっているとき、**タイトル/編集**または**グループタイトル/編集**を押してもタイトル入力はできません。
- MDに合計で1793文字以上の文字を入力すると、「ピピピッ」とエラー音が鳴り「CANNOT TITLE(キャンノット タイトル)」と表示されます。
- 62文字以上のタイトルは、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。
- グループ分けされていないMDは、グループタイトルをつけることができません。**グループタイトル/編集**を押すと「FORM GR?」と表示されます。

1 MDを入れる

・誤消去防止つまみを閉じておきます(➡*7*ページ参照)。

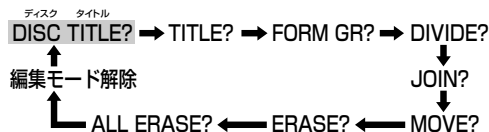
2 タイトル/編集 または グループタイトル/編集 を押して、タイトル編集モードに切り換える

ディスクタイトルをつけるとき

タイトル/編集 を1回押す (**必ずMDが停止状態のとき操作します**)

➡ディスクタイトル編集表示になります。**手順4へ**進みます。

DISC TITLE ?

ボタンを押すごとに以下のようにモードが選べます。

曲タイトルをつけるとき

タイトル/編集 を2回押す

(演奏中に タイトル/編集 を1回押すと、TITLE? が表示され、その曲のタイトルが入力できるようになります)

➡曲タイトル編集表示になります。**手順3へ**進みます。

TITLE ?

*36*ページへ続く

録音する
編集する

タイトルをつける(つづき)

2 グループタイトルをつけるとき

グループタイトル/編集 を1回押す

➡グループタイトル編集表示になります。**手順3**へ進みます。

GR TITLE ?

ボタンを押すごとに以下のようにモードが選べます。

※グループ分けされていないMDは、「FORM GR?」と表示されます。はじめにグループをつくってください(➡43ページ参照)。

3 SET を押したあとタイトルをつける曲またはグループを選ぶ

曲タイトルをつけるとき

▶▶I(またはI◀◀)あるいは数字ボタンを押して曲を選ぶ

・ボタンを押すごとに以下のように曲が選べます。

1 TITLE? ⟷ 2 TITLE? ⟷ 3 TITLE?
最後の曲…

グループタイトルをつけるとき

グループスキップ >>I (またはI<<)を押してグループを選ぶ

・ボタンを押すごとに以下のようにグループが選べます。

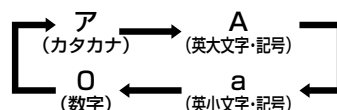
GR1 TITLE? ⟷ GR2 TITLE?
最後のグループ…

すでにタイトルが入力されているときは、そのタイトルの修正、追加、削除ができます。

4 SET を押す

タイトル入力表示になります。
●タイトルが入力されているときは、入力位置にタイトルが表示されます。

5 表示/文字 を押して入力文字を変更する

ボタンを押すごとに次のように文字の種類が切り換わります。文字の種類が点滅します。

入力したい文字は**37**ページの「**文字配列表**」で確認してください。

6 タイトルを入力する

数字ボタンを使って、1文字ずつ入力していきます。1つのボタンに複数の文字が割り当てられていますので、文字ごとに、そのボタンをくり返して表示させます。

例：「ス」と入力するとき

1) **表示／文字**を押して、「ア」を表示させます。これで入力文字が「カタカナ」になります。

2) **数字ボタン**(3)を押すと、入力位置に「サ」と表示されます。

3) **数字ボタン**(3)をくり返し押すと、**「シ➡ス➡セ➡ソ➡サ…」**と順番に表示されます。合計3回押して入力位置に「ス」を表示させます。

手順5と手順6をくり返して好きなタイトルを入力してください。タイトルは61文字までつけられます。

文字の入力位置を移動させるには

≧10(または10)を押します。右(または左)に1文字分ずつ移動します。入力位置で文字を入力すると新しい文字が入力され、そこにあった文字は右に1文字分移動します。

文字を訂正するときは

訂正したい文字に入力位置を移動させてCANCELを押します。入力位置の文字が消去されます。右側に文字があるときは左に1文字分つまります。

「空白」をつくるには

≧10で入力位置を右に移動させるか、文字種「記号」からスペース(空白)を選びます。

●「ウエ」「NO」のように、**同じボタンを使う入力が連続するとき**は、≧10を押して文字の入力位置を右に1文字分移動させてから入力します。

途中でタイトル入力をやめるには

タイトル／編集または**グループタイトル／編集**を押します。入力途中のタイトルは変更されません。通常のモードに戻ります。

7 ENTER ◯を2回押してタイトルを登録する

タイトルが登録されます。

ディスクタイトルをつけるとき

- 通常のモードに戻ります。

曲タイトル、グループタイトルのとき

- 次のタイトル入力表示が現われます。引き続き、手順**4**～**7**をくり返してタイトル入力を行うこともできます。演奏中は次の曲または次のグループの演奏になります。
- 最後の曲またはグループにタイトルをつけ終わると、再び最後の曲またはグループの入力待ちに戻ります。手順**8**へ進みます。
  演奏中は、最後の曲またはグループがくり返し演奏されます。

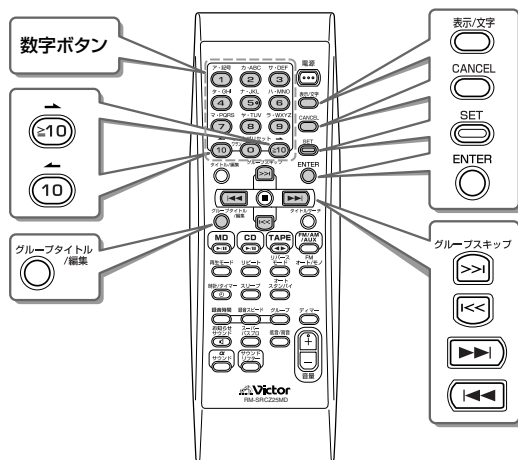
● 曲タイトル、グループタイトルをつけるときのみ

8 CANCEL ⬭を押してタイトル入力を終了する

通常のモードに戻ります。

- **・タイトル／編集またはグループタイトル／編集を押して、通常のモードに戻すこともできます。**
- **・MDを取り出すときは、本体の▲MD取出しを押します。**
  MDが出てくる前に「**Writing**」が表示され 編集した内容が**MD**に記録されます。

録音中のタイトル入力について

- **タイトル／編集**を押したときの曲、または▶▶I（またはI◀◀）で選んだ曲にタイトルをつけます。
  グループタイトル／編集を押したときのグループにタイトルをつけます。
- 録音が終了するまで**ENTER**を押さなかったときは、その曲のタイトルは無効になります。

タイトル入力に使える文字・記号と数字

● 文字配列表

ボタン	カタカナ	英大文字	英小文字	数字
ア・記号 1	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*	1
カ・ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI 4	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ・JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV 8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン 0	ワヲン ゛ー ゜			0

＊「記号」で表示できる内容

□スペース(空白)	!	”	#	$	%	&	’	(	)	＊	+
,	−	.	／	:	;	<	=	>	?	@	＿	`

お知らせ

- 「゛」や「゜」は、濁音や半濁音になる文字以外には入れることができません。

編集する

曲を編集する

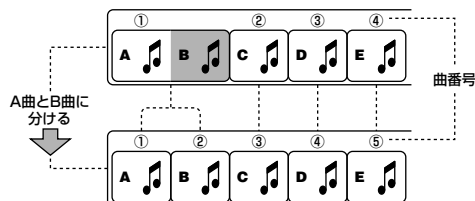
曲(トラック)編集とは

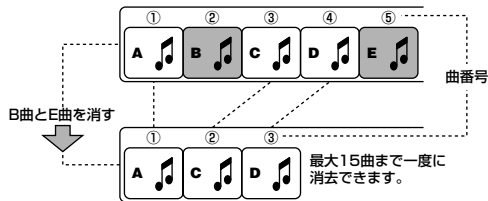
- MDの編集には「曲を分ける」、「曲をつなげる」、「曲を移動する」、「曲を消す」、「全曲を消す」があり、機能を組み合わせて使うこともできます。
- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると、「ピピピッ」とエラー音が鳴り「PLAYBACK MD」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると、「ピピピッ」とエラー音が鳴り「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDの演奏モードがプログラム演奏またはランダム演奏、グループ演奏になっているときは、**タイトル／編集**を押しても編集のモードになりません。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。「Writing」が表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でCANCELまたは**タイトル／編集**を押すと、編集操作を中止することができます。

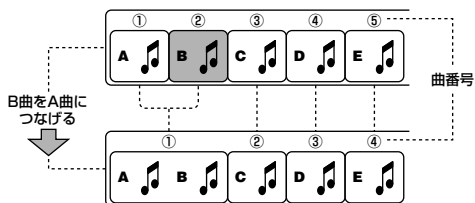
タイトル／編集を押すごとに、「DISC TITLE?」➡「TITLE?」➡「FORM GR?」に続いて次の5つの機能が呼び出されます(➡***35***ページ参照)。

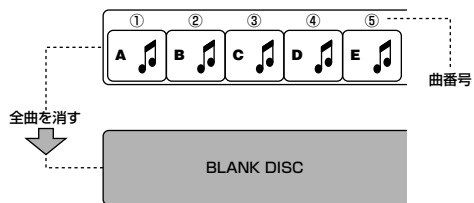
- **ソース(音源)がMDのとき停止中または演奏中に、リモコンで操作します。**

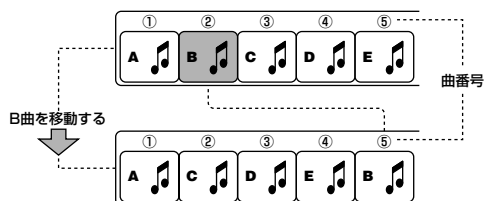
曲を分ける(DIVIDE)

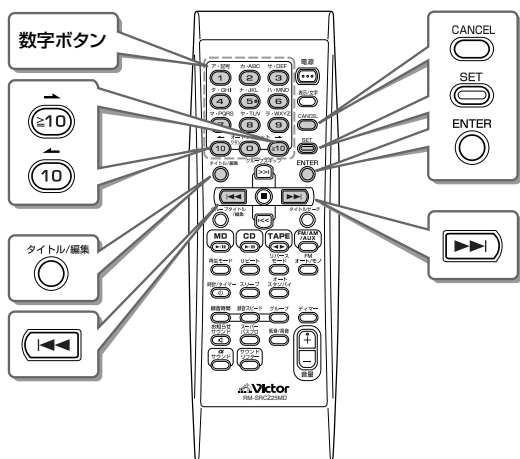
曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けます。

曲を消す(ERASE)

不要な曲やナレーションなど、消したい曲を指定して消去することができます。曲番号があらたにふり直されます。

曲をつなげる(JOIN)

トラックマークを削除して、1つ前の曲とつなげることができます。

全曲を消す(ALL ERASE)

全部の曲をすべて消去し、ブランクディスクにします。

曲を移動する(MOVE)

好きな順番に曲を入れ換えます。

〈お知らせ〉

- **トラックマークとは…**
  曲ごとの頭の部分に頭出しのためについているマークのことです。トラックマークとトラックマークの間が曲としてみなされ、演奏順に番号表示されます。これが曲番号(**トラックナンバー**)です。

曲を分ける(DIVIDE)

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けることができます。
メドレーやFM放送などを録音したあとに曲番号を割り当てることができます。分けた曲以降の曲番号は自動的にふえます。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 タイトル/編集 をくり返し押して「DIVIDE?(ディバイド)」を選ぶ

DIVIDE ?

2 SET を押す

1曲目の演奏が始まります。

3 ▶▶| (または |◀◀)を押して分けたい曲を選ぶ

- 数字ボタン(1〜10、≧10、0)を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- 演奏中に ▶▶| を押し続けると、曲の早送りができます。|◀◀ を押し続けると、曲の早戻しができます。分けたいところを探すときに便利です。
- 全体が1曲で録音されているときは、手順**4**へ進みます。

4 曲を分けたいところで SET を押す

SETを押したところから4秒間がくり返し演奏され、位置が確認できます。

POSITION ➡ 0 OK?

- 希望どおりに分けられたときは、手順**6**に進みます。
- 分けたいところをやり直すには、CANCELを押します。演奏が継続します。
- 曲の頭やナレーションなどに食い込んでいるときは、手順**5**へ進みます。分ける場所が微調節できます。

5 ▶▶| (または |◀◀)を押して微調節する

±128ポジション(SP:標準モード時約±8秒)の範囲で分けるところが移動できます。

- 分けたいところをやり直すときは、CANCELを押します。

6 SET を押す

PUSH ENTER

- 途中でやめるときは、**タイトル/編集**を押します。

7 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

● もとに戻すときは

「曲をつなげる(JOIN)」(➡**40**ページ参照)の操作をします。

● 曲を分けることができないMD

254曲録音してあるMDなどは、手順**4**でSETを押すと、「ピピピッ」とエラー音が鳴り「DISC FULL」が表示されます。

曲を編集する（つづき）

曲をつなげる（JOIN）

不要なトラックマークを削除して、連続する2曲を1曲にまとめることができます。1つ前の曲とつなげることができます。JOINをすると曲番号は付け直されます。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 タイトル/編集 をくり返し押して「JOIN?（ジョイン）」を選ぶ

JOIN ?

2 SET を押す

3 ▶▶|（または |◀◀）を押してつなげたい曲を選ぶ

例：2曲目を1曲目とつなぐとき

表示は「1+2？」「2+3？」のように次々と変わっていきます。

- 数字ボタン（1～10、≧10、0）を押して、つなげたい曲を直接選ぶこともできます。選んだ曲が演奏状態になります。

4 SET を押す

PUSH ENTER

- つなげる曲を選び直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、**タイトル／編集**を押します。

5 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

●もとに戻すときは

「曲を分ける（DIVIDE）」（➡***39***ページ参照）の操作をします。

●つなげることができない曲またはMD

・録音時間のモード（SP／LP2／LP4）が異なる曲または、デジタル録音（CD）した曲とアナログ録音（ラジオなど）した曲をつなげることはできません。つなげようとすると、「ピピピッ」とエラー音が鳴り「CANNOT JOIN」が表示されます。
・1曲しか録音されていないMDなどは、曲をつなげることができません。

曲を移動する（MOVE）

1つの曲を指定したところへ移動させます。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 タイトル/編集 をくり返し押して「MOVE?（ムーブ）」を選ぶ

MOVE ?

2 SET を押す

3 ▶▶|（または |◀◀）を押して移動したい曲を選び、SET を押す

表示は「← 2？」「← 3？」のように変わります。

- 数字ボタン（1～10、≧10、0）を押して、曲を直接選ぶこともできます。選んだ曲が演奏状態になります。
- 曲を選び直すときは、CANCELを押します。

4 ▶▶|（または |◀◀）を押して移動先の曲番号を選び、SET を押す

例：2曲目を5番目に移動する

- 数字ボタン（1～10、≧10、0）を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- 移動先の曲がグループ登録されているときは、移動後そのグループに登録されます。また、移動先の曲がグループ登録されていないときは、移動後にグループ登録からはずれます。
- 移動先の曲を選び直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、**タイトル／編集**を押します。

5 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

●曲の移動ができないMD

・1曲しか録音されていないMDなどは、曲の移動ができません。

曲を消す(ERASE)

指定した曲を最大15曲まで一度に消すことができます。
消した曲のあとの曲番号は付け直されます。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 タイトル/編集 **をくり返し押して「ERASE?」(イレース)を選ぶ**

ERASE ?

2 SET **を押す**

1 ERASE ?

3 ▶▶| **(または |◀◀)を押して消したい曲を選ぶ**

表示窓に消したい曲の曲番号が表示されます。

- 数字ボタン(1〜10、≧10、0)を押して、曲を直接選ぶこともできます。選んだ曲が演奏状態になります。

4 SET **を押す**

例：2曲目を削除するとき

曲が選ばれた表示

- やりなおすときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、**タイトル／編集**を押します。
- 1曲だけ消すときは**手順6**へ進みます。

5 手順3と4をくり返す(最大15曲まで選べます)

- 消したい曲を選び終わったら手順**6**へ進みます。

6 ENTER **を2回押す**

指定した曲が消去されます。
「EDITING」が表示されたあと､「Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

全曲を消す(ALL ERASE)

MDに録音されている曲をすべて消して**ブランクディスク**にします。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 タイトル/編集 **をくり返し押して「ALL ERASE?」(オール イレース)を選ぶ**

ALL ERASE ?

2 SET **を押す**

PUSH ENTER

- 途中でやめるときは、**タイトル/編集**を押します。

3 ENTER **を押す**

「EDITING」が表示されたあと､「Writing」が表示され、その後、「BLANK DISC」が表示されます。

ご注意

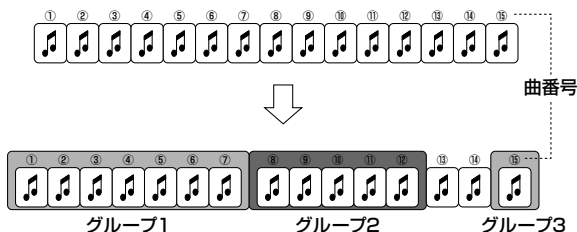
- 一度消去した曲は、戻すことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開いた状態にしておいてください(➡**7**ページ参照)。

編集する

MDをグループ編集する

本機にはMDの新しい機能、グループ機能があります。ここでは、グループとその編集について説明します。

MDのグループ機能とは

ステレオ長時間録音(MDLP)によって1枚のMDに、今までよりも多くの曲(トラック)が録音できるようになりました。MDのグループ機能は、曲(トラック)を最大99のグループに分けて登録することで、管理をより便利にするためのものです。

グループは、1曲(トラック)でも設定できます。また、連続する曲(トラック)をグループとして登録することができます。

MDのグループ機能には、次のものがあります。

- **グループ演奏**：1つのグループの曲(トラック)だけを演奏します(➡***22***ページ参照)。リピート演奏もできます。
- **グループ録音**：録音と同時に、複数の曲(トラック)をまとめて1つのグループとして登録できます(➡***30***ページ参照)。
- **グループタイトル**：ディスクや曲(トラック)と同じように、グループにもタイトルをつけたり編集したりすることができます(➡***35***ページ参照)。
- **グループ編集**：右の項目をご覧ください。

MDのグループ編集

MDのグループ編集は次の8つの機能があります。これらの機能は、**グループタイトル／編集**を押すごとに、「GR TITLE?」に続いて呼び出されます。これらの機能を組み合わせて使うこともできます。ソース(音源)がMDのとき、リモコンで操作します。

- **「グループをつくる(FORM GR)」：**
  グループに属していない曲(トラック)から新しいグループを作ります。左の図で、13曲目と14曲目から4つめのグループを作ることです(➡***43***ページ参照)。
- **「グループに登録する(ENTRY GR)」：**
  曲をすでにあるグループに登録します。左の図で13曲目をグループ2に登録することです(➡***44***ページ参照)。
- **「グループを分ける(DIVIDE GR)」：**
  1つのグループを2つに分けます。左の図で、グループ1を2つに分けてグループ総数を4にすることです(➡***44***ページ参照)。
- **「グループをつなげる(JOIN GR)」：**
  2つのグループをまとめて1つにします。左の図で、グループ1とグループ2を1つのグループにまとめることです(➡***45***ページ参照)。
- **「グループを移動する(MOVE GR)」：**
  グループの移動をします。左の図で、グループ2をグループ1の前に移動させることです(➡***45***ページ参照)。
- **「グループを解消する(UNGROUP)」：**
  1つのグループを解消します。曲(トラック)の消去はしません(➡***46***ページ参照)。
- **「全グループを消す(UNGROUP ALL)」：**
  すべてのグループを解消して、グループのない状態にします。曲(トラック)の消去はしません(➡***46***ページ参照)。
- **「グループを消す(ERASE GR)」：**
  グループと共にグループ内のすべての曲(トラック)を消します。左の図で、グループ2を消去すると、8曲目から12曲目までが消去されます(➡***46***ページ参照)。

〈お知らせ〉

- グループ分けされていないMDのときは、**グループタイトル／編集**を押しても「FORM GR?」と「ALL ERASE?」以外にはなりません。まずグループを作ってから他のグループ編集をしてください。
- 100以上のグループを作ろうとすると、「ピピピッ」とエラー音が鳴り「GROUP FULL」と表示されます。また、グループに関する情報量の制限を超えていると、「ピピピッ」とエラー音が鳴り「CANNOT GROUP」と表示されます。それ以上のグループは作れません。

〈お知らせ〉
- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると、「ピピピッ」とエラー音が鳴り「PLAYBACK MD」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると、「ピピピッ」とエラー音が鳴り「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDの演奏モードがプログラム演奏またはランダム演奏、グループ演奏になっているときに、**グループタイトル／編集**を押しても編集モードになりません。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。「Writing」が表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でCANCELまたは**グループタイトル／編集**を押すと、編集操作を中止することができます。

グループをつくる(FORM GR)

どのグループにも登録されていない連続した曲から新しいグループをつくります。1曲でもグループにすることができます。編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「FORM GR?」を選ぶ

FORM GR ?

2 SET を押す

3 ►►| (または |◄◄)を押して新しいグループの先頭の曲を選び、SET を押す

- 数字ボタン(1〜10、≧10、0)を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- 他のグループに属している曲を選んだときは、「ピピピッ」とエラー音が鳴り「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。

4 ►►| (または |◄◄)を押して新しいグループの最後の曲を選び、SET を押す

- 他のグループに属している曲を選んだときは、「ピピピッ」とエラー音が鳴り「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。
- 先頭の曲から最後の曲の間に他のグループがあるときは、「ピピピッ」とエラー音が鳴り「CANNOT FORM」と表示され、次の手順に進めません。
- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、**グループタイトル／編集**を押します。

5 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- **もとに戻すときは**

「指定したグループを解消する(UNGROUP)」(➡***46***ページ参照)の操作をします。

編集する

MDをグループ編集する(つづき)

グループに登録する(ENTRY GR)

曲を1つ選び、指定したグループの最後の曲として登録します。**登録したいグループにすでに登録されている曲は、登録できません。**
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「ENTRY GR?」(エントリー グループ)を選ぶ

ENTRY GR ?

2 SET を押す

TRK 1 ?

3 ▶▶| (または |◀◀)を押してグループに登録する曲を選び、SET を押す

- 数字ボタン(1〜10、≧10、0)を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- 選んだ曲がグループに登録されていると、そのグループ番号が表示されます。

4 グループスキップ >>| (または|<<)を押して登録先のグループを選び、SET を押す

例：グループ2に登録するとき

GROUP 2 ?
↓
PUSH ENTER

- 登録ができないときは、「ピピピッ」とエラー音が鳴り「CANNOT ENTRY」と表示され、次の手順には進めません。
- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、**グループタイトル／編集**を押します。

5 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- **もとに戻すときは**
右の「**グループを分ける(DIVIDE GR)**」のあと「**指定したグループを解消する(UNGROUP)**」(➡46ページ参照)の操作をします。

グループを分ける(DIVIDE GR)

1つのグループを2つに分けます。新しくできる2つのグループのうち、後ろのグループの先頭の曲を指定します。グループ番号は付け直されます。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「DIVIDE GR?」(ディバイド グループ)を選ぶ

DIVIDE GR ?

2 SET を押す

3 グループスキップ >>| (または|<<)を押して分けるグループを選ぶ

例：グループ1を分けるとき

4 ▶▶| (または |◀◀)を押してどの曲から分けるかを選び、SET を押す

例：6曲目のとき

- 数字ボタン(1〜10、≧10、0)を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- グループの先頭の曲やグループに登録されていない曲を選んだときは、次の手順に進めません。
- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、**グループタイトル／編集**を押します。

5 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- **もとに戻すときは**
「**グループをつなげる(JOIN GR)**」(➡45ページ参照)の操作をします。

グループをつなげる（JOIN GR）

となりあう2つのグループを1つのグループにします。タイトルがついているときは、番号の小さい方のグループタイトルが残ります。グループ番号は付け直されます。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「JOIN GR?」（ジョイン グループ）を選ぶ**

JOIN GR ?

2 SET **を押す**

3 グループスキップ ▶▶I（またはI◀◀）**を押してつなげるグループの組を選び、**SET **を押す**

例：グループ2とグループ1をつなげるとき

GR 1+GR 2 ?

↓

PUSH ENTER

連続するグループ番号が、表示されます。グループがないときは「ーー」と表示されます。

- 2つのグループの間に、グループに登録されていない曲があると、SETを押したとき「ピピピッ」とエラー音が鳴り「CANNOT JOIN」と表示され、つなげることはできません。
- 途中でやめるときは、**グループタイトル／編集**を押します。

4 ENTER **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

● もとに戻すときは

「グループを分ける（DIVIDE GR）」（➡**44**ページ参照）の操作をします。

グループを移動する（MOVE GR）

1つのグループを指定したところへ移動します。
グループ番号は付け直されます。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「MOVE GR?」（ムーブ グループ）を選ぶ**

MOVE GR ?

2 SET **を押す**

GR ← GR 1?

3 グループスキップ ▶▶I（またはI◀◀）**を押して移動させるグループを選び、**SET **を押す**

例：グループ2のとき

GR 2← GR 2?

4 グループスキップ ▶▶I（またはI◀◀）**を押して移動先を選び、**SET **を押す**

例：グループ2をグループ1にする

- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、**グループタイトル／編集**を押します。

5 ENTER **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

● もとに戻すときは

もう一度**「グループを移動する（MOVE GR）」**の操作をします。

MDをグループ編集する(つづき)

グループを解消する(UNGROUP/UNGROUP ALL)

指定したグループまたは全グループを解消して、曲のグループ登録をやめます。解消されたグループ内の曲は消去されません。またグループ番号は、付け直されます。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

指定したグループを解消する(UNGROUP)

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「UNGROUP?」(アングループ)を選ぶ

UNGROUP ?

2 SET を押す

3 グループスキップ >>I (またはI<<)を押して解消するグループを選び、SET を押す

例：グループ3を解消するとき

PUSH ENTER

- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、**グループタイトル／編集**を押します。

4 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

全グループを解消する(UNGROUP ALL)

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「UNGROUP ALL?」(アングループ オール)を選ぶ

UNGROUP ALL?

2 SET を押す

- 途中でやめるときは、**グループタイトル／編集**を押します。

3 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- **もとに戻すときは**

「グループをつくる(FORM GR)」(➡**43**ページ参照)の操作をします。

グループを消す(ERASE GR)

グループをMDから消去します。消去されたグループ内の曲も同時に消去されます。消したグループよりあとのグループ番号と曲番号は、付け直されます。
編集用のMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「ERASE GR?」(イレース グループ)を選ぶ

ERASE GR ?

2 SET を押す

3 グループスキップ >>I (またはI<<)を押して消すグループを選び、SET を押す

例：グループ2を消すとき

GR 2 ERASE ?

PUSH ENTER

- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、**グループタイトル／編集**を押します。

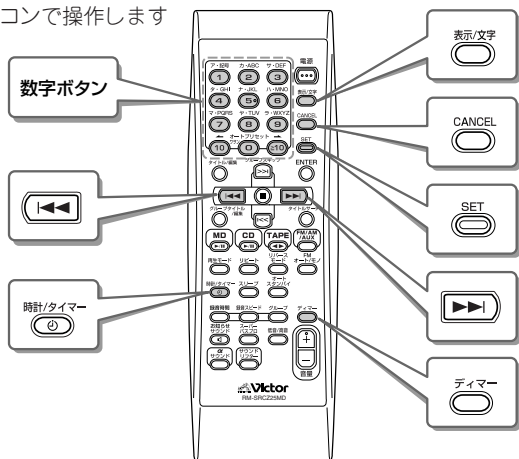
4 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「Writing」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

ご注意

- 一度消去した曲は、戻すことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開いた状態にしておいてください(➡**7**ページ参照)。

時計を合わせる(現在時刻と曜日の設定)

リモコンで操作します

●例：午後1時15分(13:15)土曜日に合わせるには…

1 時計/タイマー を押す ➡

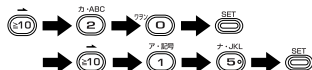
2 ▶▶| (または |◀◀)と SET で時刻と曜日を合わせる(本機の時計は「24時間表示」方式です)

・▶▶|(または|◀◀)は、押し続けると時刻が連続して変わります。時刻は数字ボタンでも設定できます。

⑤「曜日」表示を「Sat.」に合わせ…
⑥押す。13:15 Sat. が点灯に変わり、操作終了です。「00秒」からスタートします。

・時刻を数字ボタンで合わせる
手順①と③のときは、数字ボタンで「時」と「分」を合わせることもできます。

・数字が1〜10のとき ：そのまま①〜⑩を押す。
・数字が11以上のとき：≧10を押してから①〜⑨、⓪を押す。

例：午後8時15分(20:15)に合わせるには
≧10 ➡ ② ➡ ⓪ ➡ SET

なお、曜日は▶▶|(または|◀◀)で合わせてください。

●時刻を音で確認する

本機は「**オシラセ サウンド ON**」(➡**17**ページ参照)のとき、時刻を音でお知らせする機能があります。電源「切」のとき操作します。

リモコンのディマーを押すと、時刻を4ケタの数とみなして千の位から1ケタずつ「ド、ミ、ソ、ド」のように各位の数を音の回数でお知らせします。

●音の種類は3種類あります。

長い音　　：「0」を示します
短い音　　：「1〜4」を示します
短い連続5音：「5」を示します。「6」以上は、この音の後に**短い音**が続きます。

例：時刻表示が「9：35(午前9時35分)」のとき
4ケタの数「0935」とみなします。

「0」…長い音	(ド)
「9」…短い連続5音+短い音4回	(ミ)
「3」…短い音3回	(ソ)
「5」…短い連続5音	(ド)

●正確に時刻を合わせるには

テレビの時刻表示や電話の時報サービス等を利用してください。時刻を合わせ直すときは、リモコンの**時計/タイマー**を5回押したあと左記の**2**の操作をして合わせます。

●20分以上の停電や電源コードが抜いてあったときは…

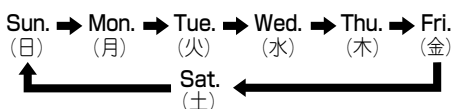
時刻表示が取り消されます。このようなときは、左記**1**〜**2**の操作で時刻と曜日を合わせ直してください。

●使用中に時刻を知るには…(MDが入っていないとき)

リモコンの**表示/文字**を押します。元の表示に戻すときは、もう一度押します。

・MDデッキにMDが入っているときと、入っていないときで表示の順番が異なります(➡**19**ページ参照)。

〈お知らせ〉

●電源「切」で時計を合わせたときは、設定が終わると現在時刻と曜日の表示に変わります。
●時計を合わせているとき、リモコンのCANCELを押すと「時」または「分」表示の点滅に戻せます。時刻を修正することができます。
●時計を合わせておくと、タイマーを利用することができます。合わせていないとタイマーが利用できません。
●時計の精度は…
月に1分程度のズレを生じます。タイマーをお使いになるときは、時々時刻を合わせ直してください。
●手順**2**⑤の曜日表示は▶▶|を押すごとに

と選べます。|◀◀を押すと逆に選べます。

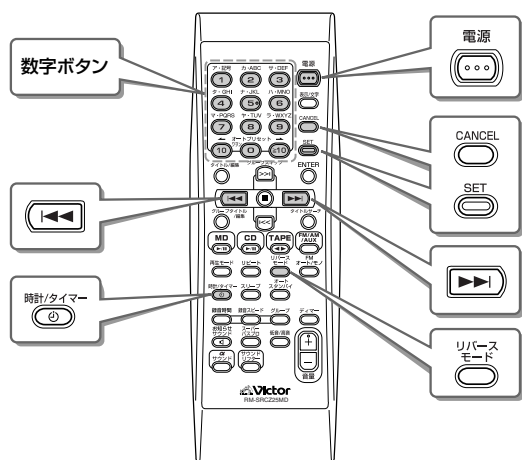
タイマーを使う

本機では、「**目覚ましタイマー**」「**録音タイマー**」「**おやすみタイマー**」の3種類のタイマー機能を使うことができます。

タイマー操作をする前に　タイマーの設定をする前に必ず本機の時計(現在時刻と曜日)を正しく合わせておいてください(➡*47*ページ参照)。
●時計合わせをしていないと、タイマーの設定はできません。

目覚ましタイマー(タイマー再生)/録音タイマー

タイマー1〜タイマー4まで合計4通りで使えます。
開始時刻(電源が「**入**」になる時刻)、終了時刻(電源が「**切**」になる時刻)、聞きたいソース(音源)または録音する放送局などを設定します。

・リモコンで操作します。
・電源「入／切」どちらの状態でも設定できます。

ご注意

●FMまたはAMをソース(音源)に選ぶときは、あらかじめ放送局をプリセットしておく必要があります(➡*17*ページ「**放送局を記憶させる**」参照)。
●「AUX」をソース(音源)に選ぶときは、必ずタイマー機能付きの外部機器を使用してください。

〈お知らせ〉

●タイマー1からタイマー4に設定した内容は、改めて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。
●録音タイマーの場合、前のタイマーの終了時刻と、後のタイマーの開始時刻が同じでもそれぞれの時刻でタイマーが動作します。別々の放送局を留守録音するときなどに便利です。
なお、目覚ましタイマー(タイマー再生)のときは、必ず2分以上あけて設定してください。
●電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、タイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。

1 時計/タイマー を押してTIMER1(タイマー)〜TIMER4(タイマー)のいずれかを選ぶ

TIMER 1 ➡ TIMER 2 ➡ TIMER 3 ➡ TIMER 4
ソース(音源)の表示(電源「入」のときのみ) ⬅ 現在時刻(「時」表示点滅)

●設定済みのタイマーは「1 (タイマー1のとき)」のように表示されます。（タイマー番号）

2 SET を押す

●タイマーの開始時刻(「時」表示)が点滅します。
設定済みのときは、その開始時刻と終了時刻が表示されます。
●「目覚ましタイマー」と「録音タイマー」とを合計4通りで使えます。操作は手順**3**の④まで同じです

3 ▶▶|(または |◀◀)とSETでタイマーの設定をする

●設定をやり直すときはCANCELを押します。
一つ前の設定項目に戻ります。

MDに録音するとき：録音用のMDを忘れずに入れておきます。

テープに録音するとき：録音用のテープ(ノーマルテープ)を忘れずに入れたあと、リバースモード(⇄または⇆)を選んでおきます。

●**タイマーの動作時間に対し、録音残量が十分あるか確かめてください。**

①開始時刻の設定

▶▶|または|◀◀をくり返し押して「時」を設定しSETを押します。次に▶▶|または|◀◀をくり返し押して「分」を設定しSETを押します。
●▶▶|(または|◀◀)を押し続けると、連続して時刻が変わります。

例：タイマー1の開始時刻を午後1時15分にするとき

1
13:15 –　0:00

●**開始時刻の設定(「時」と「分」)は、リモコンの数字ボタンでもできます(➡*47*ページ参照)。**

②終了時刻の設定

▶▶❙または❙◀◀をくり返し押して「時」を設定しSETを押します。次に▶▶❙または❙◀◀をくり返し押して「分」を設定しSETを押します。

- ▶▶❙(または❙◀◀)を押し続けると、連続して時刻が変わります。

例：タイマー1の終了時刻を午後2時15分にするとき

1

13:15 - 14:15

- 終了時刻の設定(「時」と「分」)は、リモコンの数字ボタンでもできます(➡*47*ページ参照)。

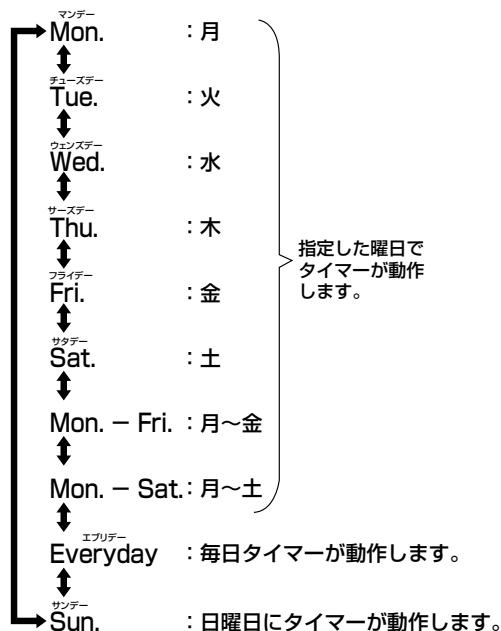
③毎日使用か１回使用を選ぶ

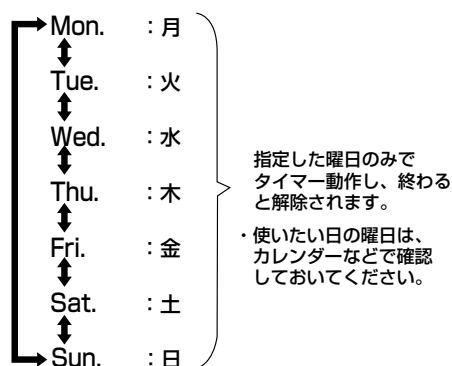
▶▶❙または❙◀◀を押して「WEEKLY」または「ONCE」を選びSETを押します。

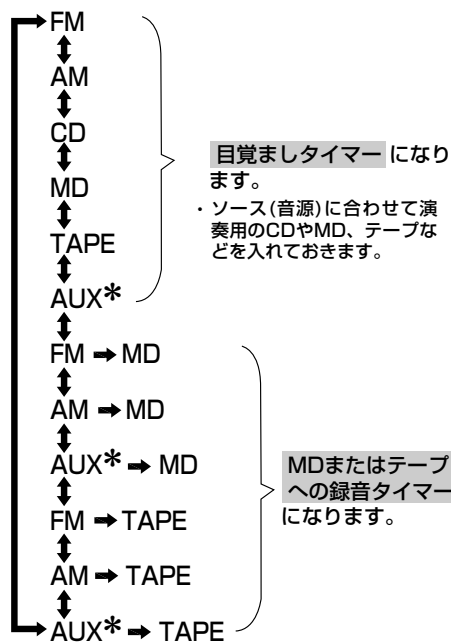
WEEKLY　：毎日または選んだ曜日でくり返し使う
↕
ONCE　：選んだ曜日のみで１回だけ使う

④使いたい曜日を選ぶ

▶▶❙または❙◀◀をくり返し押して曜日を選びSETを押します。

手順③で「WEEKLY」を選んだとき

- 出勤／登校用や休日用などにタイマー1〜タイマー4を使い分けると便利です。

手順③で「ONCE」を選んだとき

⑤ソース(音源)を選ぶ

▶▶❙または❙◀◀をくり返し押して目覚ましタイマーまたは録音タイマーのソース(音源)を選びSETを押します。選んだソース(音源)の表示が点滅します。

*タイマー機能付きの外部機器を使います。

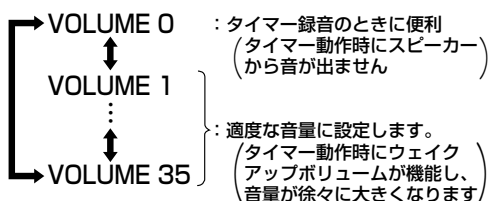
- TAPEまたはAUX(AUX➡MD、AUX➡TAPEも含む)のときは、手順⑦へ進みます。

*50*ページへ続く

⑥放送局(CD／MDは曲番号)を選ぶ

- ソース(音源)にFMまたはAMを選んだときは、▶▶▎または▎◀◀をくり返し押して放送局のプリセット番号(FM：FM1～FM30、AM：AM1～AM15)を選びSETを押して手順⑦に進みます。
- ソース(音源)にCDまたはMDを選んだときは、このままSETを押して手順⑦へ進むと1曲目からの演奏になります。または、▶▶▎を押して最初に聞きたい曲(CDは99曲まで、MDは254曲まで)を選ぶことができます。SETを押して手順⑦に進みます。
- 放送局のプリセット番号やCD/MDの曲番号は、リモコンの数字ボタンでも選べます。

⑦タイマー動作中のスピーカー音量の設定

▶▶▎または▎◀◀を押して、タイマー動作中のスピーカー音量(VOLUME 0～VOLUME 35)を設定しSETを押します。
SETを押すとタイマーの設定は終わりです。

- スピーカー音量は、リモコンの数字ボタンでも設定できます。

 ・VOLUME 0～10 ：(0)～(10)を押します。
 ・VOLUME 11～35：(≧10)を押してから(1)～(9)、(0)を押します。

 (10の位を選ぶときは、先に(≧10)を1回押してから設定します)

 例：VOLUME 15 にするとき

タイマーの設定が終わると
設定内容が一通り表示されます。

● 電源「入」で設定したとき

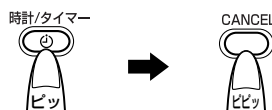
4 電源 (○○○)を押して電源を「切」にする

- 表示窓に⏻表示と手順1で選んだタイマー番号(留守録音のときは、さらにREC表示)が点灯していることを確認してください。

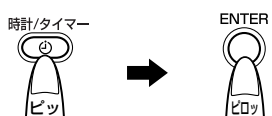
⋮

- 開始時刻になるとタイマーがスタートし、終了時刻になると自動的に電源が「切」になります。
- 「WEEKLY」でタイマーを設定したときは、解除するまでタイマー動作がくり返されます。留守録音のときは、MD(またはテープ)の録音残量にご注意ください。
- 「ONCE」でタイマーを設定したときは、タイマー動作が終了すると解除されます。ただし、設定内容は記憶されています。

● タイマーを解除する

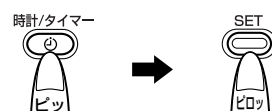
設定したタイマーを一時的に解除することができます。

- ・TIMER 1～TIMER 4の解除したいタイマー番号を選ぶ。
- ・「TIMER OFF」が表示され、⏻表示とタイマー番号(留守録音のときは、さらにREC表示)が消えて解除されます。

● タイマーを再設定する

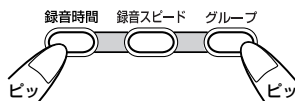
上記の操作でタイマーを解除したり、***49***ページ手順③で「ONCE」を選びタイマー動作が終了したときは、タイマーの再設定ができます。

- ・TIMER 1～TIMER 4の再設定したいタイマー番号を選ぶ。
- ・設定内容が一通り表示され、⏻表示とタイマー番号(留守録音のときは、さらにREC表示)が点灯します。

新しく設定するときは、***48***ページの手順**1**から操作します。

● 設定したタイマーを再確認する

再確認したいTIMER 1～TIMER 4のいずれかを選び、SETをくり返して押すと設定した内容が確認できます。

- ・TIMER 1～TIMER 4のいずれかを選ぶ。

● MDに留守録音するとき

電源を「切」にする前にお確かめください。

- ・録音時間のモードを選んでおきます。

REC TIME SP
↓
REC TIME LP2
↓
REC TIME LP4

表示窓に選んだモード(SP、LP2またはLP4)が表示されます。

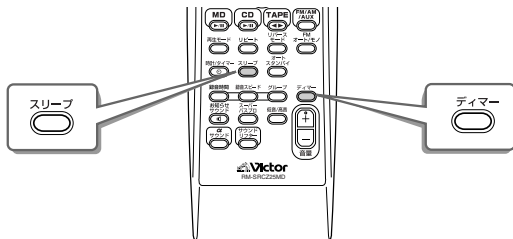
- ・グループ録音をするときは、「GROUP ON」に設定しておきます。表示窓にGROUPが表示されます。

〈お知らせ〉

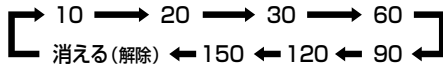
- トラックマークのつけかたを選ぶときは、***32***ページの手順**2**をご覧ください。

おやすみタイマー(SLEEP)

音楽や放送を聞きながら眠りたいときに使います。
電源を「**切**」にするまでの時間を設定し、おやすみください。
設定した時間が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。

● リモコンで操作します。

1 スリープ を押す

「SLEEP 10」と表示されます。ボタンを押すごとにスリープ時間(分表示)が選べます。

10 → 20 → 30 → 60
消える(解除) ← 150 ← 120 ← 90

● およそ5秒間ボタンを押さないでいると、スリープ時間の表示が消えて自動的に設定されます。表示窓がソース(音源)の表示に戻り、SLEEPが表示されます。
● おやすみタイマーを設定すると、オートディマー機能が働いて表示窓と前面パネルが暗くなります。

● 設定したスリープ時間を変更する

・おやすみタイマー設定後に**スリープ**を1回押すと、電源が「**切**」になるまでの**残り時間**が表示されます。
・設定を変更するときは、**スリープ**をくり返し押して希望のスリープ時間を選びます。

● おやすみタイマーを取り消す

・スリープ時間の表示が消えるまで、**スリープ**をくり返し押します。おやすみタイマーが解除されます。
・電源を「**切**」にしたときも、おやすみタイマーは解除されます。

● 音楽などを聞きながらおやすみになり、目覚ましタイマーで目覚めるには

1. 目覚ましタイマーを設定する(➡***48***～***50***ページ参照)
2. 聞きたいソース(音源)を演奏する
3. **スリープ**を押してスリープ時間を設定する

⋮

・設定した時間が経過すると自動的に電源が「**切**」になり、目覚ましタイマーの開始時刻で電源が「**入**」になります。

● 表示窓と前面パネルの明るさを変える(ディマー機能)

おやすみタイマーを使っているときなど表示窓と前面パネルの明るさを変えるときは、**ディマー**ボタンを押します。

・**押すごとに選べます。**

表示窓と前面パネルが暗くなる(ディマー「オン」)：オートディマーが働いたときと同じ

⇕

ディマー解除：通常の明るさ

タイマーを使う

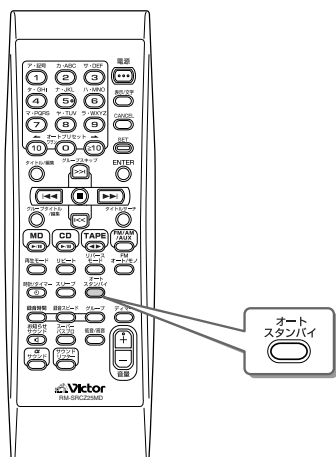
オートスタンバイ機能を使う

本機にはラジオ以外のソース（音源）の無音状態が3分以上続くと、自動的に電源が「**切**」になるオートスタンバイ機能があります。

●ソース（音源）が「ラジオ」以外のとき

1 オートスタンバイ **を押す**

A.STANDBY表示が点灯します。

例：CDを演奏中のとき

●オートスタンバイを設定すると

オートスタンバイ機能を設定すると、表示窓のA.STANDBY表示が点灯します。
オートスタンバイ機能が動作すると、表示窓のA.STANDBY表示が点滅に変わります。

●オートスタンバイの動作

CD、MDまたはテープを演奏または録音しているとき：
演奏または録音が終わると、オートスタンバイ機能が動作し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。
3分以内に演奏または録音の操作をしたときは、演奏または録音が終了してから再度オートスタンバイ機能が動作します。
演奏または録音以外の操作をしたときは、最後の操作が行われてから何の操作もせずに3分が経過すると、自動的に電源が「**切**」になります。

他の機器の音声を聞いているとき：
無音状態になるとオートスタンバイ機能が動作し、何の操作もせずに3分以上無音が続くと、自動的に電源が「**切**」になります。

電源が「**切**」になる20秒前になると表示窓の文字情報表示部に「A.STANDBY」と点滅表示されます。

●オートスタンバイを解除する

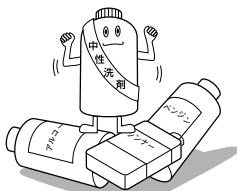
オートスタンバイをもう一度押します。
A.STANDBY表示が消灯します。

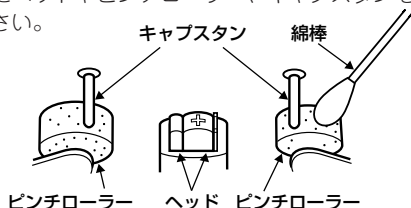
お手入れ

本体の清掃

パネル操作面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。汚れがひどいときは水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

お願い

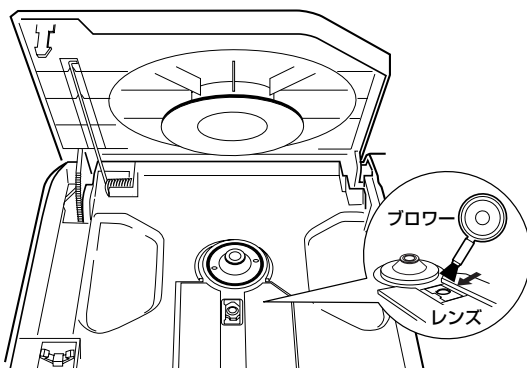
- **シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。**

テープデッキのヘッド部の清掃

音が小さくなったり音質が悪くなる前に、およそ10時間使うごとにヘッドやピンチローラー、キャプスタンを清掃してください。

・市販のクリーニングキット（綿棒とクリーニング液）を使うと便利です。

CDプレーヤーのレンズの清掃

レンズの汚れは音飛びなど演奏ができなくなる原因になります。

CDドアを開け、図のようにレンズをクリーニングしてください。

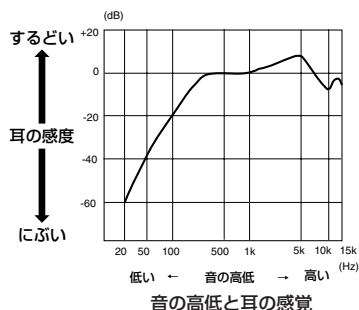
- ほこりなどは市販のクリーニングキットのブロワーを使ってゴミをはき出してください。

- 万一、指紋などが付いているときは綿棒で軽くふいてください。

MDの技術解説

ATRAC（Adaptive Transform Acoustic Coding）

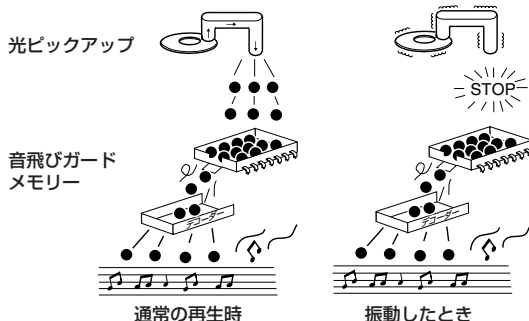
（アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング）

音の中には、実際にはよく聴こえない音が混ざっています。例えば、音が小さいときは低音や高音は聴こえにくくなります。また、大きい音と同時または直後に小さい音が鳴ってもその音は聴こえません。MDでは、〔ATRAC（Adaptive Transform Acoustic Coding）〕という技術を使って、こうした人間の聴感特性に基づき音を取捨選択することによりデータを小さく圧縮しています。この技術により、記録するデータは元のデータの約1/5の量になり、小さなMDにも収めることが可能となりました。さらにATRAC3の場合、LP2で元のデータの約1/10、LP4で約1/20に圧縮しステレオ長時間録音を可能にしています。

音の高低と耳の感覚

音飛びガードメモリー

MDを再生する場合、振動で音が飛ばないように、再生する曲のデータをメモリーにいったん蓄えておく機能「音飛びガードメモリー」が働いています。この機能により、振動でディスクの信号が光レーザーで読み取れなかった場合に「音飛びガードメモリー」のデータがあるので、実際に聞こえる音は途切れません。

オートスタンバイ機能を使う

知っておいてほしいこと

MDの制約について

MDは、従来のカセットテープやDATとは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

症　状	原　因
MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。	MDは時間に関係なく、録音できる曲数(トラック数)に制限があります。曲(トラック)番号が255以上になる録音はできません。（録音可能な最大トラック数は254曲まで）
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、1曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。分けられて8秒以下(SP：標準モード時)の部分ができると、その曲は、「JOIN」でつなげることはできません。また、その部分は消しても残り時間は増えません。細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。また、MDLP規格による録音時間のモードが異なる曲は、「JOIN」でつなげることができません。
「JOIN」機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。	MDは、最低でも12秒間(SP：標準モード時)の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短くなります。

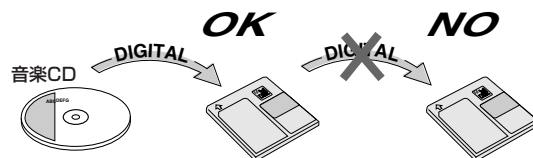
MDは、CDのクリアな音をデジタル録音することができます。ただし、こうして録音されたMDを他のMDに再びデジタル信号のまま他の機器でコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりをSCMS(シリアル･コピー･マネージメント･システム)といいます。
本機は、この決まりに準拠して設計されています。

SCMS (Serial Copy Management System)

（シリアル コピー マネージメント システム）

シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは１世代だけと規定したものです。

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎03−5353−0336（代）

ご注意
- この規定により、一度デジタル録音されたMDからは、他のMDへデジタル録音することはできません。
- CD-R/CD-RWはアナログ信号に変換後、録音されます。
➡*30*ページ参照

5倍速録音に関して（HCMS）

録音用MDは等速を超えるスピードで録音（コピー）することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。本機では、CDから一度5倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の二度目の5倍速録音はできません。
例えば、CDの1曲目を5倍速録音した場合、5倍速録音が開始してから74分間は、そのCDの1曲目を再びMDに5倍速で録音することはできません。また、CDから5倍速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計で101曲以上録音することはできません。100曲までの録音をすることができます。

故障かな？と思う前に —おや？故障かな？と思ったら…修理に出す前にもう一度お確かめください。—

	症　状	原　因	処置・確認のしかた	参照ページ
共通部	音がでない。	・ヘッドホンがつながれている。	・ヘッドホンのプラグを抜く。	13
	表示窓の時刻と曜日表示が点滅している。	・20分以上の停電があったため。または電源コードを抜いたため。	・時計合わせやタイマーの予約をし直す。	47
CDプレーヤー部	演奏が始まらない。	・CDが裏返しに入っている。	・文字のある面が上になるように正しく入れる。	18
		・レンズに露がついている。	・電源を入れたまま、1〜2時間待ち乾いてから使う。	6
	音飛びがする。	・CDにキズがある。	・CDを交換する。	•
MDレコーダー部	演奏が始まらない。	・レンズに露がついている。	・電源を入れたまま、1〜2時間待ち乾いてから使う。	6
	5倍速録音ができない。	・CDのプログラム演奏、ランダム演奏になっている。	・リモコンの**録音スピード**ボタンを押して等速録音（REC SPEED×1）にする。	31
		・CDの演奏スピードが定速（SPEED 0）になっていない。	・CDの演奏スピードを定速（SPEED 0）にする。	31
	編集操作ができない。	・演奏モード（PRGM、RNDまたはGR）がオンになっている。	・リモコンの**再生モード**ボタンを押して演奏モードを解除する。	20
テープデッキ部	再生音が小さい。	・ヘッドが汚れている。	・ヘッドを清掃する。	53
	テープ録音ボタンを押しても録音状態にならない。	・カセットの誤消去防止用のツメが折れている。	・セロハンテープなどでツメの穴をふさぐ。	6
チューナー部	雑音が多くて放送がうまく受信できない。	・アンテナの調節が悪い。	・アンテナの調節をし直す。または本機の設置場所を変える。	12
		・AMループアンテナ線の接続が違う。	・白線側を「AM EXT」側に接続する。	12
タイマー部	タイマーがスタートしない。	・現在時刻と曜日が合っていない。	・正しい時刻と曜日に設定し直す。	47
		・タイマー表示（⏻）とタイマー番号（1〜4）が表示されていない。	・リモコンの**時計／タイマー**ボタンを押してタイマー表示（⏻）とタイマー番号（1〜4）を表示させ、再設定する。	50
リモコン	リモコン操作ができない。	・リモコンの乾電池が消耗している。	・新しい乾電池（単3形）と交換する。	11
		・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっている。	・直射日光や照明器具などの強い光が当たらない所で操作する。	11

● **上記の処置をしても正しく動作しないときは**

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっております。万一どのボタンを押してもうまく動作しないときは、一度電源コードを外し、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと時計合わせやタイマー予約をし直してください。

● 大切な録音の場合は、必ず事前に試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください。

お願い

● 本機の故障または不具合等により録音、再生およびCDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

故障かな?と思う前に(つづき)

● MD/CDのメッセージ表示一覧

メッセージ	意　　味	処　　置
BLANK DISC	何も録音されていないMDが入っている。	新しく録音するとき以外は、他の録音済みのMDと取り換えてください。
CANNOT JOIN	録音時間のモードが異なる曲または8秒以下（SP：標準モード時）の短い曲をつなげようとした。	MDのシステム上の制約です。
	離れているグループをつなげようとした。	となりあうグループとつなげる。 ➡**45**ページ参照
READ ERROR	MDが異常（損傷している）。	MDを取り換える。
DISC FULL	MDの空き時間が足りない。 曲番号が254を超えている。 （254曲まで録音可能）	他の録音用MDと取り換えてください。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみをずらし、穴の閉じた状態にする。
EMERGENCY STOP	異常が発生した。	電源を入れ直してください。
MD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
NON AUDIO CANNOT COPY	CD-ROM（ビデオCDなど）をデジタルダビングしようとした。	録音を中止してください。
PLAYBACK MD	再生専用MDに録音・編集しようとした。	録音用MDと取り換えてください。
TRACK PROTECTED	他の機器でDIVIDE、JOINまたは消去ができないようになっている。	本機では解除できません。録音した機器で編集操作してください。
SCMS CANNOT COPY	デジタルダビングのコピーのコピーを作ろうとした。	自動でアナログ録音に切換わります。 ➡**30**ページ参照
HCMS CANNOT COPY	5倍速で録音した曲を、その曲の録音開始から74分以内に再び5倍速録音しようとしたため。	著作権保護のため内部タイマーが働いています。74分以上待つかまたは等速録音にしてください。
CANNOT LISTEN	5倍速録音中に音量・音質調節をしたため。	5倍速録音中は、CDの演奏音が出ません。終わるまで待ってください。
GROUP TRACK	すでにグループに登録されている曲を選んでグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでグループを作る。
CANNOT REC	CDの演奏スピードが定速（SPEED 0）以外のとき5倍速録音をしようとした。	定速（SPEED 0）にする。
	CDのプログラム演奏、ランダム演奏のとき5倍速録音をしようとした。	等速録音にする。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保　証　書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

CD-MDポータブルシステム補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または***57***ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

55ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDやMDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎（　　　）　　－

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。
- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

別売のオプション品

・ヘッドホン：HP-S35
・電源コード：CN-325A（長さ1.8m）
・接続コード：CN-201A（AUX IN端子の接続用）
　　　　　　　CN-203A
・マイクロホン：MV-K4-B
・CDレンズクリーナー：CL-CDLA
・MDレンズクリーナー：CL-MLA
・FMフィーダーアンテナ：CN-511A（300Ω）
（アンテナコネクター：VZ-71Aと一緒に使います）
・アンテナコネクター：VZ-71A（75Ω/300Ω）

■別売のオプション品はお買い上げの販売店でお求めください。品番は変更されることがあります。
■この製品の製造時期は本体の底面に表示されています。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138) 52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172) 28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
	水沢 S.S.	(0197) 22-2773	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182) 32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234) 26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246) 27-7991	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越			
群馬	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F
栃木	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 202-0263	千葉市中央区中央3-9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03) 3727-9385	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426) 46-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048) 553-5105	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	平塚 S.C.	(0463) 36-2160	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046) 234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258) 24-8391	長岡市下条2-1366-1
長野	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1F
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593) 52-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北陸			
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.S.	(0742) 35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792) 34-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083) 973-3708	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
島根	松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0705

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

用語索引・用語解説

アルファベット・数字

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

αサウンドとは

α波は、人がリラックスしているときに発生する脳波の一つと言われています。ビクターのαDIMENSION SOUNDは、サウンド回路の要である左右差信号(L－R間接音)にα波周波数でゆらぎを与え(これをLFO変調といいます)、さらに抜け落ちやすい中音域の音楽信号を自然に補正することにより、聞くだけでリラックスできるような自然で心地よい音づくりを目指しました。

主な仕様 ―本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。―

〈CDプレーヤー部〉

項目	仕様
形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1kHz
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20Hz～20kHz
スピード調節	±12%

〈MDレコーダー部〉

項目	仕様
形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生時間	録音時間のモードSP：80分 LP2：160分 LP4：320分 （MD80使用時）
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC3（MD **LP**）方式
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20Hz～20kHz

〈チューナー部〉

項目	仕様
受信周波数	FM：76.0MHz～108.0MHz AM：531kHz～1,629kHz
アンテナ	FM：75Ω不平衡型／ロッドアンテナ AM：ループアンテナ

〈テープレコーダー部〉

項目	仕様
トラック方式	コンパクトカセット・ステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	交流消去
ヘッド	消去（2ギャップフェライト） 録音・再生（ハードパーマロイ） コンビネーション×1
早巻時間	約200秒（C-60）
周波数範囲	ノーマルテープ ：60Hz～12.5kHz（JEITA）

〈タイマー部〉

項目	仕様
タイマー形式	4プログラム動作（オン･オフタイマー） （WEEKLY/ONCE切換可能）
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120、150分 （ディマー機能付）
時計表示	24時間表示

〈共通部〉

項目	仕様
スピーカー	8cm（丸形×2）、4Ω
入力端子	マイク（×1）、1.6mV（-56dBV） 適合インピーダンス200Ω～2kΩ AUX（φ3.5ステレオミニ×1）、500mV 入力インピーダンス49kΩ
出力端子	PHONES（φ3.5ステレオミニ×1）、 15mW＋15mW/32Ω 適合インピーダンス16Ω～1kΩ
実用最大出力	4W＋4W（JEITA/AC）
電源	AC100V（50Hz/60Hz共用）
消費電力	電源　入（ON）時27W 切（STANDBY）時0.9W
最大外形寸法	幅416mm×高さ178mm×奥行267mm
質量	約5.4kg

- JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

付属品

- リモコン（RM-SRCZ25MD）……1
- 単3形乾電池（リモコン動作確認用）……2
- 電源コード（長さ1.5m）……1
- AMループアンテナ……1

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
58ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120-2828-17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は **電話(045)450-8950** **FAX(045)450-2275** 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、57ページをご覧ください。

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0705 MOMSANJEM